

資料室

B12

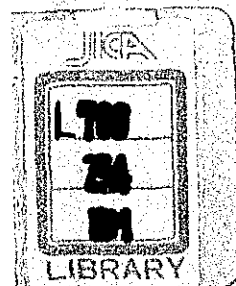
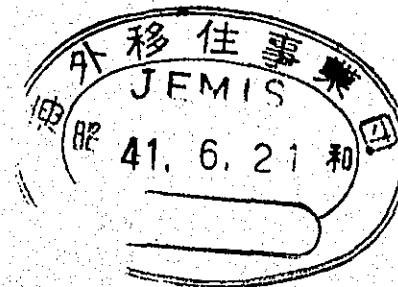
調査資料 No. 63

巡回診療報告書

(昭和40年度分)

1966年6月

海外移住事業団



序

海外移住事業団の移住者援護業務の一環として毎年奥地移住地を中心に医師の巡回診療を行っております。巡回の都度その実施報告が行われておりますが、断片的なものでありますので、このたび、昭和40年度分(40.4～41.3)を要約し取り纏め御参考に供することになりました。

新しい世界を求めて移住された方々の保健衛生ならびに診療については、われわれ援護業務担当者としても重大な関心と熱意を傾注している次第であります。その実態は数次に亘る調査を以てしてもなかなか把握が困難であります。この報告書が多少なりとも医療衛生向上の一助となれば幸と存ずる次第であります。

ここに巡回医療に当られた多くの方々のなみなみならぬ御労苦に対し敬意と謝意を表すると共に今後とも一層の努力を傾けることを誓うものであります。

海外移住事業団

業務第二部長

国際協力事業団	
受入 月日	'84. 8. 20
	L700
登録No.	13061
	23.4
	EM



	Page		Page
1. 巡回地総覧		(3) グビチエタ移住地	2 1
2. 主要巡回地域図		(4) イツペラ移住地	2 2
3. 巡回診療報告書要約	1	(5) ウナ移住地	2 3
1. アスパウゼ移住地	1	7. ミズホ移住地	2 4
2.		8.	
(1) 和歌山移住地	1	(1) ビラール・ド・スール移住地	2 5
(2) イタボラン移住地	2	(2) JAMICビニヤール耕地	2 5
(3) 共栄北海道移住地	3	9 アルデア地区	2 6
(4) 松原移住地	3	10 バラナグラ, シュキア, イグワツベ, ビグワ	2 7
(5) ビラ・グロリア移住地	4	11 サンタイザベル	2 8
(6) ビラビヤンチーナ移住地	5	12 スール・ブラジル(衛生講演会)	2 9
(7) カフエーポラン移住地	6	13	
(8) ナビライ移住地	6	(1) タイアーノ移住地	2 9
(9) パナンビー移住地	7	(2) ベラビスタ移住地	3 0
(10) ラランジャ・リマ移住地	7	14 サンルイス・ロザリオ	3 2
(11) クリスタリーナ移住地	8	15 アサイザール, ドイスガーリヨス移住地	3 3
(12) ベドロハン・ガバレロー移住地	9	16 リノボリス・サントアントニオ移住地	3 3
(13) ベドロガバリエロ, シリグエ移住地	9	17	
(14) サンパブタン移住地	1 0	(1) イガラツベ移住地	3 4
3. グアタバラ移住地	1 1	(2) ペロオリゾンテ市及びその近郊	3 4
4.		(3) ベツチン地方	3 4
(1) リベイロン・プレット市及びその近郊	1 2	(4) パージエン・ボニート移住地	3 4
(2) グアラ市移住地	1 2	(5) リオ・プレット移住地	3 5
(3) イツペラーバ市移住地	1 3	(6) スクレオ・バンデランテ移住地	3 5
(4) ミゲロボリス市移住地	1 4	(7) タグアチンガ	3 5
(5) パレットス市移住地	1 5	(8) アナボリス市及びその近郊	3 6
5.		(9) ゴヤニヤ市及びその近郊	3 6
(1) ビオ・ドーゼ移住地	1 6	(10) ウベランジャ地方	3 6
(2) スクレオコロニアル移住地	1 7	(11) ウペラーバ地方	3 6
(3) コロニアブナウ移住地	1 8	18 第2トメマス	3 7
(4) リオ・ボニート移住地	1 9	19	
(5) レシークエ市及びその近郊	1 9	(1) シアノルチ市及びその近郊	3 7
6.		(2) グワイーラ市及びその近郊	3 8
(1) マルケス・デ・パレツサ移住地	2 0	(3) ウムアラーマ市及びその近郊	3 9
(2) ファンシャール移住地	2 0	(4) コロニア日光及びその近郊	4 0

(5)	ロアンダ市及びその近郊	4 1
(6)	ノーバ、エスベランサ及びその近郊	4 1
(7)	クイアパーパウリスタ、ノーボ、オリエンテ、ノーボ、パライゾ	4 2
(8)	ミランチ、ド、バラナ、パネマ市及びその近郊	4 3
20		
(1)	第2トメマス	4 3
(2)	レジストロ植民地	4 4
21	サンパウロ市ペーニア地区	4 5
22	イタリリー地域	4 5
23	ノーボ、ポンセット地区	4 6
24		
(1)	ベロツタス地区	4 7
(2)	バジエー地区	4 7
(3)	ブラメント地区	4 8
(4)	アレグレッツチ地区	4 8
(5)	サンボルジア地区	4 9
(6)	ジルアー地区	4 9
(7)	イジユイ	5 0
(8)	クルス、アルタ地区	5 1
(9)	サンタ、マリア地区	5 1
(10)	カシユエイウ、ド、スール地区	5 2
25		
(1)	フンシヤール移住地	5 2
(2)	サンタ、クルス移住地	5 3
(3)	イタグアイ移住地	5 3
(4)	サンベント移住地	5 3
(5)	アルケス、デ、バレンサ移住地	5 4
(6)	ビグア地区	5 4

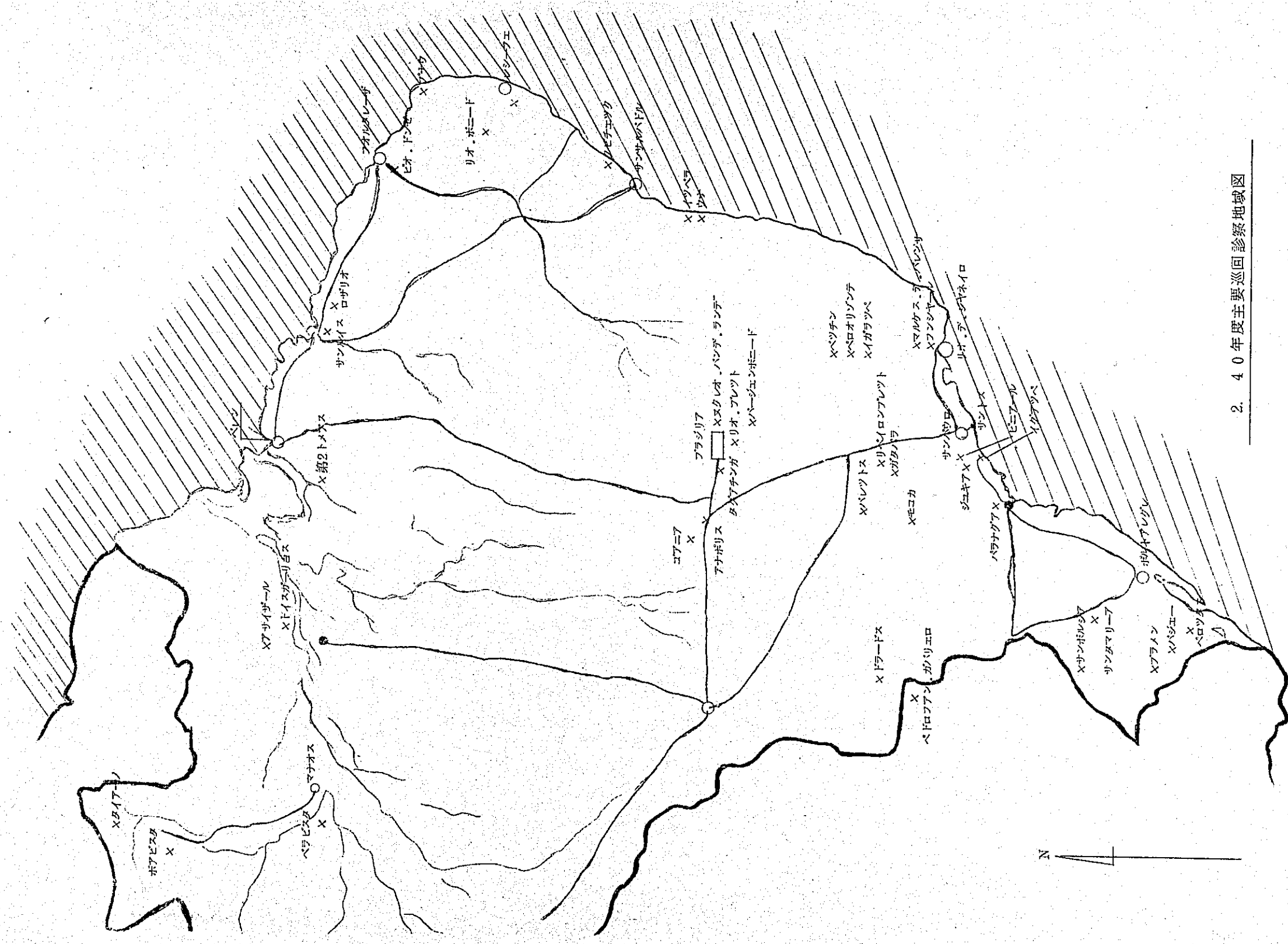
附 疾病統計

1. 巡回地域総覧

巡回回数	巡回地区区分	巡回地域	期日	巡回者名	巡回回数	巡回地区区分	巡回地域	期日	巡回者名
1	(1)	アスパウビ 移住地 - サンパウロ州モカコ郡	4/16-4/18	細江、武田、中谷、岩中、細江、広瀬	(2)		スクレオコロニアル・ピウンル - リオ・グランデ・ド・ノルテ州	7/11	武田、中畑
2	(1)	和歌山 移住地 - マット・グロツソ州 ドラーズ郡	6/24	木原、中谷	(3)		コロニアアウタウ植民地 - リオグランデ・ド・ノルテ州 ナタール近郊	7/22	"
	2)	イタポラン 移住地 - "	6/25	"	(4)		リオ・ポニート 植民地 - ペルナンブツコ州 スクレオ・コロニアル	7/25-7/26	"
	(3)	共栄北海道 - "	6/26	"	(5)		レンシーフェ市及び近郊 - ペルナンブツコ州	7/27	"
	(4)	松原 - "	6/27	"	6 (1)		マルケス・デ・パレツサ 移住地 - リオ・デ・ジヤネイロ	8/17	武田、中谷後呂
	(5)	ピラ・グロリア - "	6/28	"	(2)		フンシャル 移住地 - リオ・デ・ジヤネイロ州 カシヨエイラス・ドマカゴ郡	8/18	"
	(6)	ピラビヤンチナ - "	6/28	"	(3)		クビチエク 移住地 - バイヤ州マツタデサンジョン郡	8/22-8/23	"
	(7)	カフエーポラン - "	6/29	"	(4)		イツペラ 移住地 - バイア州	8/25	"
	(8)	ナビライ - "	6/30-7/1	"	(5)		ウナ 移住地 - バイア州イタプナ郡	8/27	"
	(9)	パナンビー - "	7/2	"	7 (1)		ミスホ 移住地 - サンパウロ州サンベルドカンボ	7/18	細江、木原、後呂、小畑、中谷 岩中、広瀬、松苗、山畑、山内
	(10)	ラランジャリマ - "	7/2	"					細江、武田、大野、中谷、後呂 降旗、坂根、広瀬、小畑
	(11)	クリスタリーナ - "	7/3	"	8 (1)		ピラール・ド・スール地方 - サンパウロ州	9/12	"
	(12)	ベドロフハンガバレー - パラグアイ国アマンバイ県	7/6-7/9	"	(2)		JAMICピニヤール耕地 - サンパウロ州	9/12	"
	(13)	ベドロ、カガリエロ シリグエロ - "	7/7	"	9 (1)		アルデヤ地区 - サンパウロ州中央線	10/3	武田、大野、小副川、中畑、後呂、 坂根、米村、広瀬
	(14)	サンバプタン 移住地 - "	7/8	"	10 (1)		バラナグラ、ジユキア、イグワツベビグークリチー市	11/1-11/3	細江、後呂
3	(1)	クアタバラ 移住地 - サンパウロ州リベ ロンプレット郡	5/28-5/31	木原、中畑、岩中、細江	11 (1)		サンタイザベル郡 - サンパウロ州中央線	11/7	細江、武田、木原、小副川、中谷、 後呂
4	(1)	リベイロン、プレット市及び近郊 - サンパウロ州	6/1-6/3	武田、中畑、岩中、細江	12 (1)		スール・ブラジル組合 - アケバイア市	10/24	細江、武田 (衛生講演会)
	(2)	グアラ市及び近郊 - サンパウロ州	6/5	"	13 (1)		タイアーノ 移住地	9/17-9/28	今田
	(3)	イツペラーバ市及び近郊 - サンパウロ州	6/4	"	4 (2)		ペラピスタ 移住地	"	"
	(4)	ミケロポリス市及び近郊 - サンパウロ州	6/6	"	14 (1)		サンルイス 郡 - ロザリオ 郡 - マラニオン州	10/15-10/21	今田、山内、谷 (専業団)
	(5)	パレットス市及び近郊 - サンパウロ州	6/11-6/12	"	15 (1)		アサイザール、ドイスガーリヨス 移住地 - モンテ アレグレ州	10/28-11/2	今田、本田
5	(1)	ピオ・ドービ 植民地 - セアラ州 フォルダレーガ近郊	7/17	武田、中畑	16 (1)		リノポリス、サントアントニオ - サンパウロ州 サントアントニオ州	11/20-11/21	細江、中谷、米村

巡回数	巡回地区	巡回地域	期日	巡回者名	巡回数	巡回地区	巡回地域	期日	巡回者名
17	(1)	イガラツベ地方-ミナス州ペロオリゾンテ郡	11/10-11/24	木原、中谷、米村	22	(1)	イタリー地域-サンパウロ州ジユキア線	1/15-1/16	武田、中谷、坂根、米村
	(2)	ペロオリゾンテ市-ミナス州	"	"	23	(1)	ノボ、ボンゼツト地区-サンパウロ州 グワールリヨ郡	1/9	細江、武田、木原、大野、中谷、中畑
	(3)	ベツチン地方-ミナス州ペロオリゾンテ郡	"	"	24	(1)	ペロツタス地区-リオ・グランデ・ド・スール州	2/27-3/18	木原、中畑、米村
	(4)	パーゼン・ポニート-ブラジリア連邦区	"	"		(2)	バジエー地区	3/6	"
	(5)	リオ・アレット地方-	"	"		(3)	ブラメント地区	3/7	"
	(6)	スクレオ・バンデランテ地区-	"	"		(4)	アレグレッツチ地区	3/8	"
	(7)	タグアチンガ地方-	"	"		(5)	サンボルジア地区	3/10	"
	(8)	アナボリス市及びその近郊-ゴヤス州	"	"		(6)	ジルアー地区	3/11	"
	(9)	ゴヤニヤ市及びその近郊-	"	"		(7)	イジユイ地区	3/12	"
	(10)	ウペランジャ地方-ミナス州	"	"		(8)	クルス・アルタ地区	3/13	"
	(11)	ウペラーバ地方-ミナス州	"	"		(9)	サンタ・マリア地区	3/14	"
18	(1)	第2トメアス	11/4-11/7	今田		(10)	カシユエイラ・ド・スール	3/15	"
19	(1)	シノチ市及びその近郊-パラナ州	12/2-12/18	武田、中畑、米村	25	(1)	フンシヤール移住地	1/20	武田、坂根、米村
	(2)	グワイーラ市及びその近郊-パラナ州	12/6	"		(2)	サンタ・クルス移住地	1/21	"
	(3)	ウムアラマ市及びその近郊-パラナ州	12/7-12/8	"		(3)	イタグアイ移住地	1/22	"
	(4)	コロニア日光-パラナ州アリアエレナ郡	12/9	"		(4)	サンベント移住地	1/23	"
	(5)	ロアング市及びその近郊-パラナ州	12/11	"		(5)	マルケス・デ・パレンサ地区	1/24	"
	(6)	ノーバ、エスペランサ地区-パラナ州	12/13	"		(6)	ピグア地区及び郊外	2/5-2/6	"
	(7)	クイアバ、パウリスダ、ノーボ・オリエンテ ノーボ・パライズ	12/15-12/16	"					
	(8)	ミランチ・ド・パラナ、パネマ市及び近郊	12/17	"					
20	(1)	第2トメアス	12/8-12/11	今田					
	(2)	レジストロ植民地-サンパウロ州レジストロ郡	12/11-12/12	細江、木原、農田、中谷、後呂 坂根、岩中					
21	(1)	サンパウロ市ペーニア地区	12/12	大野、片山、小副川、広瀬、松苗					

以上



2. 40年度主要巡回診察地域図

3. 巡回診療報告書要約

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
サンパウロ州 モコカ郡 アスバアゼ移住地	4/16~18	日系人 84戸(157名) 現地人 7戸(70名)	83名 男 39名 女 44名 大人 40 小人 43	医師 細江 静 男 武田 義 信 助手 中谷 正 臣 岩中 徹 副手 細江 仙 子 広瀬 和	(営農状況) 野菜、養鶏主体、その他、果樹、養蚕を行う。 (教 育) 補助金により建設した小学校(10×25m 教室2)あり、生徒数50名教師1名、4年制。中学、高校はモコカ市へ通学、中学在校生7名高校生3名。日本語学校無し、将来開設の予定。 (医 療) 急病の場合はモコカ市内の医院へ行く。当市内には医師10名、薬局12軒ある。モコカ市まで13km。 (疾病統計) 偏食33、貧血14、扁桃腺炎12、頸部リンパ腺炎9、ペラグラ疾7、高血圧6、低血圧5、農薬の影響5、ビタミンB不足6、腸寄生虫病3、虫歯(成人14、小人30) (問 題 点) リ環境衛生 ・水道施設の設置を画る。(BHCを4ヶ月毎に撒布) ・家屋改善を行うこと。(天井、便所、風呂) リ個人衛生 ・農薬の取扱いに留意、農薬保管を確実にすること。 ・各家庭にさそり、クモ、蛇等の血精の具備。
マツトグロツソ州 ドランドス郡 和歌山移住地	6/22~7/10 診察日 (6/24)	日系人 11戸 現地人 15戸 (330人)	47名 男 17名 女 20名 大人 18 小人 19	医師 木原 暢 助手 中谷 正 臣	(営農状況) 総面積1760アルケール、1戸あたり15アルケール、コーヒーを中心に綿、アメンドンを栽植し、市場はドランドス(150km)である。養鶏、養豚は自家用のみ。コーヒーは1戸あたり3,000本~15,000本、地質テラロンヤ、ドランドスまでトラックで16時間を要する。

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>(教育) 生徒数26人の小学校あり、日本語学校なし。</p> <p>(医療) 移住地に医師おらず、入植当時の診療器具、手術器具が保存されたままでさびついているものがある。入院手術必要の際はドラードスまで行かなければならない。ドラードスには病院(小)1つ、開業医15人あり、普通の手術はできる。毒蛇血清は移住地にて、常備保存。</p> <p>(疾病統計) 寄生虫病10、風邪6、貧血5、扁桃腺炎5、湿疹3、慢性胃炎3、淋疾2、難聴2、扁桃腺肥大3、虫歯(成人9、小人1)</p> <p>(衛生管理上の諸注意) 環境衛生、個人衛生とも良好であるが、ドラードスから遠距離にあるので急病発生の際は心配である。</p>
マツト・グロソソ州 ドラードス郡 イタボラン移住地	同上 診察日 (6/25)	日系人 40家族 市内15戸 外25戸	13名 男8 女5 大人12 小人1	同上	<p>(営農状況) 一戸当たり平均20アルケールを有し、コーヒーを主体として米、ミーリヨ、フェジョンを栽培。土壌テラローシア、肥沃、コチア産組を通じてサンパウロに送られている。</p> <p>(教育) 小学校、中学校あり、日本語学校も毎日開校している。</p> <p>(医療) 市内に外人医師1人開業しているが入院、手術設備もたず。薬局2軒あり。毒蛇血清は常備(開業医)、ドラードス市まで15kmのため重病、手術の際は殆どがドラードス市までゆく。</p> <p>(疾病統計) 高血圧2、慢性胃炎2、慢性気管支炎1、湿疹1、リウマチ1、低血圧1、慢性気管支喘</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>息1、坐骨神経痛1、咽喉炎1、</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>川が多くマラリア、地方病プラストミューゼに感染しやすい他はドワードス市の病院に近く問題はない。</p>
<p>マツトグロツソ州 ドワードス郡 共栄北海道移住地</p>	<p>同上 診察日 (6/26)</p>	<p>日系人 23家族</p>	<p>14名 男 8 女 6 大人10 小人 4</p>	<p>同上</p>	<p>(営野状況)</p> <p>一戸当たり平均12.5アルケールを有し、コーヒーを主体としフエジョン、ミーリヨ等を栽培、コーヒーは1戸当たり9,000本~25,000。入植者の約半数はコチア産組に加入各家とも経済的に豊かである。</p> <p>(教育)</p> <p>小学校1あり、日語学校はない。</p> <p>(医療)</p> <p>無医村であるがドワードスまで25kmであり道路もよいので手術入院を要する時は、ドワードス市の病院へ行く。毒蛇血清は各家庭持</p> <p>(疾病統計)</p> <p>高血圧2、慢性胃炎2、プラストミューゼ1、急性中耳炎1、風邪1、消化不良1、齒槽膿漏1、耳栓1、寄生虫病1、下痢1、円形性脱毛症1、</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>近辺の川に魚つり等にゆき地方病プラストミューゼに疾患するものあり。DDTは年1回保健所より配布されるが、地方病の予防上必要である。便所にふたの無い家が殆んどだが、ふたをするよう指示を与える。</p>
<p>マツトグロツソ州 ドワードス郡 松原移住地</p>	<p>同上 診察日 (6/27)</p>	<p>日系人 43家族</p>	<p>16名 男 7 女 9</p>	<p>同上</p>	<p>(営農状況)</p> <p>一戸12アルケールの土地を所有し、コーヒーを主体として綿、米、ミーリヨ、大豆を栽培。生産物は、南マツトグロツソ組合を通じ、あるいはコチア産組を通して市場に送られ</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
			大人11 小人5		<p>る。稲害を非常に恐れている。アメドイン、棉、米も遂時増産される傾向にある。</p> <p>(教育) 小学校はあるが、日語学校なし、婦人会、青年会あり</p> <p>(医療) 無医村、12kmの地点までバスが来ているが急病の場合はトラックでVila vicentinaまでゆく。毒蛇血清は保有。DDTは入植以来一回撒布したのみである。</p> <p>(疾病統計) 腸寄生虫4、低血圧3、高血圧2、扁桃腺炎2、風邪1、貧血1、鼓腸1、結膜炎1、胃下垂1、虫歯(大人6、小人5、)</p> <p>(衛生管理上の諸注意) 森林地、川の周辺には、アラリア他、地方病あり、特にDDT撒布必要 移住者は日本食が多くカロリー不足になりがちである。子供の裸足は豚、犬の寄生虫、十二指腸虫、蛔虫の疾患率を高めるから注意を要する。</p>
マットグロツソ州 ドラードス郡 ビラグロリア移住地	同上 診察日 (6/28)	日系人 50家族 市内 16家族 市外 34家族	23名 男12 女11 大人10 小人13	同上	<p>(営農状況) コーヒーを主産物とし、その他アメンドイン、綿を栽培、組合には加入していない。養鶏は自家用程度である。</p> <p>(教育) 学校は小、中学校がある。日語学校なし、日本人会あり。</p> <p>(医療) グロリア市内に医師(1人)おり薬局は2軒ある。保健所より年2回DDT撒布。</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>(疾病統計)</p> <p>腸寄生虫病4、風邪2、慢性胃炎1、腰椎神経痛1、急性結膜炎1 高血圧1、扁桃腺肥大1、低血圧1、神経痛1、慢性扁桃腺炎1、</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>南マツト、グロツソ州の開拓第一線地といわれ新しい町だけに水道がなく、木造が多いので家屋内の衛生、食品衛生、ゴミの処理、井戸のふた等に注意を要する。</p>
マツトグロツソ州 ドラーダス郡 ピラビエンチーナ移 住地	同上 診察日 (6/28)	日系人 23家族 市内 10商業 市外 13 農	11名 男 4 女 7 大人8 小人3	同上	<p>(営農状況)</p> <p>主産物コーヒー、多い家で16,000本、少ない家で5,000本程度栽培、一部コチア産組に加入し生産物はドラーダス市を経てサンパウロ市場へ送られる。</p> <p>(医療機関)</p> <p>本植民地より8kmのところVila Brasilがありそこに医師が一人いる。急病の場合はそこまで行く、医師は日系人(パウロ、階七郎、河野)、毒蛇血清は各家庭保持。</p> <p>(教育)</p> <p>小学校あり、日語学校なし、青年会あり、</p> <p>(疾病統計)</p> <p>老人性消化不良2、慢性胃炎2、坐骨神経痛1、高血圧1、尋麻疹1、腸寄生虫1、紫斑病1、卵巣發育不全1、喘息性気管支炎1、</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>日系医師もVila Brasil(8km)におり恵まれた健康地であるが、家屋が木造で天井なく、家屋内の衛生、食品衛生、井戸のふた等に留意する必要がある。</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
マツトグロツソ州 ドラードス郡 カフェーボラン移住地	同上 診察日 (6/29)	日系人 30家族	15名 男 7 女 8 大人14 小人 1	同上	<p>(営農状況)</p> <p>カフェーを主体としその他、野菜、ミカンを栽培、土質純テラロシアであり収穫も他の地域と比べるとすぐれている。</p> <p>(教 育)</p> <p>小学校があるが日本語校はない。青年会は活発。</p> <p>(医療機関)</p> <p>無医村であるが病気の際は45kmはなれたドラードス市へ行く。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>欧氏管狭窄1、助間神経痛1、老人性白内障1、歯槽膿ろ1、湿疹1、腱鞘炎1、慢性胃炎1、虫歯4(大人3、小人1、)</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>本地方のコーヒー園主は多数の外人家族を使用し家の周辺に居住させているので、彼等の公衆衛生面をも十分管理することが肝要。</p>
マツトグロツソ州 ドラードス郡 ナビライ移住地	同上 診察日 (6/30~7/1)	日系人 27家族	19名 男 5 女 14 大人13 小人16	同上	<p>(営農状況)</p> <p>主産物はコーヒーで他にアモンドイン、ミーリヨ、米などある。一部牧場を持つたり商店をもつたりしているが養鶏、養豚は行なわれていない。</p> <p>(教 育)</p> <p>学校は小、中学校がある、青年会、日本人会、会館、運動場もあり、日本人のこの町における力は大きい。</p> <p>(医 療)</p> <p>ナビライ市内に外人医師1名、保健所により年1回DDT撒布、毒蛇血清は各家保持。</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>(疾病統計)</p> <p>寄生虫病5、老人性消化不良2、高血圧2、熱帯性皮膚病1、下肢静脈瘤1、慢性肝臓炎1、喘息1、肋間神経痛1、慢性胃炎1、皮膚病1、水痘1、虫歯8(大人2、小人6)</p> <p>(衛生管理上の注意点)</p> <p>本移住地はドワードス市から142kmの奥地であり医師(外人)一人居るが、重症及び精密検査必要の場合極めて不都合である。</p>
マットグロツソ州 ドワードス郡 パナンビー移住地	同上 検診日 (7/2)	日系人 10家族	21名 男 9 女 12 大人12 小人 9	同上	<p>(営 農)</p> <p>カフェー主体、米、アモンドイン、棉等栽培、土質良く各作物の単収は大きい、コチア産組員多い。</p> <p>(教 育)</p> <p>小学校あり、日語学校開かれず。</p> <p>(医 療)</p> <p>無医村、急病の時はドワードス市(30km)へ行く。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>左中耳炎1、腸寄生虫1、五十肩1、エブレブシー1、アレルギー性皮膚炎1、高血圧1、虫歯5(大人3、小人2)</p> <p>(衛生管理上の注意点)</p> <p>年2回のDDT撤布が行なわれ、衛生面も他移住地に比して良好である。</p>
マットグロツソ州 ドワードス郡 ラランジャリマ 移住地	同上 検診日 (7/2)	日系人 20家族	12名	同上	<p>(営 農)</p> <p>カフェー、フィジョン、牧畜を中心として、1戸当り1ロット12.5アルケルを所有、地質良好。</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者数	巡回状況及び結果
					<p>(教育)</p> <p>小学校のみ日語学校なし、現在青年会館建設計画中</p> <p>(医療)</p> <p>無医村、入院、手術必要の際はドラードス市(ジープ40分)へ行く。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>風邪5、ビタミン欠乏症2、腸寄生虫病1、白癬1、高血圧1、坐骨神経痛1、</p> <p>(衛生管理上の注意点)</p> <p>現在、流行性感冒が流行、高熱、咳、頭痛を訴えるもの多し、養豚農家でのハエの駆除井戸のふたの設置等に留意。</p>
<p>マツトグロツソ州</p> <p>ドラードス郡</p> <p>クリスタリーナ移住地</p>	<p>同上</p> <p>検診日</p> <p>(7/8)</p>	<p>日系人</p> <p>13家族</p>	<p>7名</p> <p>男 3</p> <p>女 4</p> <p>大人 4</p> <p>小人 3</p>	<p>同上</p>	<p>(営農)</p> <p>一戸当り20アルケールを所有し、カフェーを主にアメントイン、米、フエジョン、ミーリヨ等栽植、カフェーは少なくても15,000本、多くて40,000本ほど有す。一部コチア産組に加入。</p> <p>(教育)</p> <p>小学校あるが高卒程度の教師で水準は低い、日語学校なし、婦人会、青年会あり</p> <p>(医療)</p> <p>無医村、急病のときはドラードス市(トラックで1時間)へ行く。毒蛇血清各家庭保持。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>多発性神経痛1、高血圧1、尋麻疹1、腎性浮腫1、</p> <p>(衛生管理上の注意点)</p> <p>木造建築のため家屋内に虫類の侵入が多い、DDT撒布は年数回行う必要があ</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					る。室にも時々日光消毒をすべきである。保健所は現在年1回のDDT撒布のみである。
パラグアイ国 アマンバイ県 ペドロフハンカバ レーロ移住地	同上 検診日 (7/6~7/9)	日系人 130家族	28名 男 12 女 16 大人23 小人 5	同上	<p>(営 農)</p> <p>カフェー、みかん、大豆、フェジヨン、小麦を栽培、カフェー価格ブラジルの1.5倍、アマンバイ組合を経てアスンシオン又はブラジルに送られている。地質よく、海拔高く土地も政府が安価に譲渡しているので、将来の期待は大きい。</p> <p>(教 育)</p> <p>各入植地に小学校(日系)あり、市内に小中学校(パラガイ系)ある。</p> <p>(医 療)</p> <p>ブラジル国ポントポランに近接しているため両国の医者にかかれる、日系歯科医がアマンバイ組合長であり、衛生面の指導にあたっている。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>慢性胃炎5、高血圧3、リウマチ2、プラストミューゼ1、狭心症1、欧氏管狭窄1、鼠経ヘルニア1、湿疹1、低血圧1、胃下垂1、腎炎1、急性結膜炎1、アレルギー性皮膚炎1、虫歯9(大人6、小人3)</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>胃の疾患が多い、食事に関する注意を要する。又、熱帯に多い虫歯もかなりある。</p>
パラガイ国 アマンバイ県 ペドロカバリエロ シリグエロ地区	同上 検診日 (7/7)	日系人 20家族	18名	同上	<p>(営 農)</p> <p>1ロッテ約8アルケール所有し、カフェー、大豆、みかんを栽培、霜害の心配あり、組合ではカフェーの乾燥機と精米所を設立。</p> <p>(教 育)</p> <p>日語による小学校教育をコロニア内で行う。</p>

巡回地数	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>(医療)</p> <p>急病の際はベドロフアンカバリエロに行く。毒蛇多いので血清及び医療箱の必要あり</p> <p>(疾病統計)</p> <p>慢性胃炎3、腸寄生虫病1、アレルギー性皮膚炎1、胃炎1、坐骨神経痛1、ビタミン欠乏症1、眼性疲労1、胃拡張1、</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>本地区は、農薬を多用し、その影響による異常発汗、皮膚炎、収瞳等の症状あり、農薬撤布の際は十分注意を要す、今後農薬による影響が重要視されるであろう。</p>
<p>パラガイ国 サンバブタン移 住地</p>	<p>同上 検診日 (7/8)</p>	<p>45家族</p>	<p>19名 男 5 女 14 大人10 小人 9</p>	<p>同上</p>	<p>(営農)</p> <p>一戸当たり10アルケール平均を所有しカフェーを中心として、米、大豆を栽培アマンバイ組合を通じてブラジル及びアスンシオンに送出す、養鶏は自家用程度、1~2戸は養豚、養魚をやっている。</p> <p>(教育)</p> <p>日語学校のみ、青年会、婦人会あり</p> <p>(医療)</p> <p>無医村、急病時にはベドロ、フアンカバリエロまで行く、毒蛇多く各家庭血清保持の必要あり、</p> <p>(疾病統計)</p> <p>風邪3、リウマチ性関節炎1、アトニー性胃炎1、鼠経ヘルニア1、外痔核1、扁桃腺肥大1、月経不順1、高血圧1、更年期障害1、虫歯11(大人8、小人3)</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
サンパウロ州 リベロンブレ ット郡 グアタバラ移住地	5/28~5/31	日系人 126家族 (約600)	137名 男 54 女 83 大人71 小人66	医師 木原 暢 助手 中畑 恭一 岩中 徹 副手 細江 仙子	<p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>農薬使用の際の注意、毒蛇血清保持必要、虫歯の疾患多い。</p> <p>(営 農)</p> <p>一戸当り12.5haを所有て、低地には稲作、フェジヨン、パタタ、玉葱、高地にはミカン等の果樹を栽培、又養鶏40,000羽、乳牛30頭、豚150頭と畜産関係も盛んになりつつある。</p> <p>生産物はコチア産組を通じてサンパウロ市場へ送付。</p> <p>(教 育)</p> <p>生徒数237名の公認小学校あり、殆んどが日系人である、校舎建築中、日語学校なし、婦人会、青年会、文化協会あり。</p> <p>(医 療)</p> <p>全員コチア組合員であり、組合内の共済会に2/3が入会し、入院、手術の場合、無料に近い費用で済む。毒蛇、毒グモの血清なく、常備薬も不十分である。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>流行性感冒19、低血圧症6、貧血症6、アビタミノーゼ5、腰痛5、妊娠8、高血圧症4、急性カタル性胃炎5、頸部リンパ腺腫瘍2、偏頭痛発作症2、カタル性口内炎2、慢性胃炎4、急性カタル性腸炎4、腸寄生虫病3、心臓機能障害2、扁桃腺肥大症3、慢性肥厚性鼻炎2、急性中耳炎2、関節リウマチ2、気管支喘息2、肝臓肥大2、アレルギー性皮膚炎3、湿疹2、慢性便秘症2、肥満症2、硬年期障害2、</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>家屋構造はモデル型を基準として建てられているため比較的衛生状態良好であるが、便所の位置及び、構造に難あり、ハエのわかない様、薬剤撤布、フタの取付けを行う必要あり、水道設備簡易すぎる。本移住地には医務室が設けられ医療設備が用意されているが駐在員おらず、入院、手術必要の際約40km離れたリベロン、ブレット市へ出向いている。早急に医務駐在員の配置を望む。</p>

巡回地域	期間	人植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
サンパウロ州リベ イロン、プレット 市及びその近郊	6/1~6/3	日系人 330家族	43名 男 29 女 14 大人26 小人17	医師 武田 義信 助手 中畑 恭一 岩中 徹 副手 細江 仙子	<p>(営農)</p> <p>総て戦前移民で土地は500~600アルケールを所有する人から借地農まで巾が広い。都市近郊のため農作物は野菜、果樹(ミカン)、スイカ、アバカンが殆んどで総てりベイロン市へ送出される。</p> <p>(教育)</p> <p>当市には工科を除く総ての大学があり、日系人の在學生は非常に多い。日語教育は全く行なわれず。日系文化協会があり、会員173名、救済、慈善事業を行なっている。</p> <p>(医療)</p> <p>市内に大学附属病院、サンタ、カーザ等4つの病院があり、日系医師も三名いるので全く、不安なし。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>偏食14、貧血病6、アビタミノーゼ5、慢性胃炎4、胃十二指腸潰瘍4、腸寄生虫病4、扁桃腺肥大症4、流行性感昌3、神経病及び神経炎4、動脈硬化症4、脳出血後遺症2、糸虫症2、真性糖尿病2、アレルギー性皮膚炎2、肥満症2、</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>本地域は非常に衛生設備に恵まれた健康地である。特筆すべき疾病はないが虫卵保有者が多いこと、貧血病、胃腸障害、神経痛等栄養上の不注意による偏食に起因するものと思われる。又虫菌が多く口腔衛生にも注意を要する。</p>
サンパウロ州グッ ラー市及び近郊	6/5	23家族	67名 男 28 女 39 大人48 小人19	医師 武田 義信 助手 中畑 恭一 岩中 徹	<p>(営農状況)</p> <p>100アルケール以上の土地所有者が日系人で10家族あり、主として棉、米、ミーリヨ、大豆を栽植し、総て機械化された大農経営を行なっている。産物は直接サンパウロ市場へ出したり仲買人の手に渡しているものが多い。経営安定している。</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
				副手 細江 仙子	<p>(教 育)</p> <p>ファゼンダ毎に小学校あるが、日系人は大部分市内の小学校へ通っている。高校以上はイツペラーバ市やリベイロンブレット市、サンパウロ市へ行き現在大学在学の子弟が12人いる。家族内の会話はポ語が大部分で日語は消えていきつつある。</p> <p>(医 療)</p> <p>市内にブラジル人の開業医2、デンチスタ4あり、日系人はあまり利用せずイツペラーバ市、リベイロンブレット市へ行く。薬局5軒あり、消毒年2回、時々予防注射もあり。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>偏食24、農薬影響15、貧血症11、低血圧症8、高血圧症5、扁桃腺肥大症5、気管支喘息4、神経痛4、肥満症4、アビタノーゼ6、腸寄生虫病3、アレルギー性皮膚炎2、糸虫症2、慢性胃炎2、ノイローゼ2</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>農薬による影響がかなり多く、その取扱いに十分留意する必要あり。又寄生虫病として十二指腸虫及び糸虫感染がみられ、経皮感染の阻止、中間宿主に対する対策に注意を要す。その他偏食による体力低下、貧血症、脚気及び循環器疾患が多く、特に血圧異常が多くみられた。</p>
サンパウロ州イツペラーバ市及び近郊	6/4	40家族	37名 男 15 女 22 大人21 小人16	同 上	<p>(営 農)</p> <p>大きなファゼンダの持主が多く早くから機械化された大農法を営んでいる。土地テラローシアで肥沃、棉、米、大豆、ミーリヨを栽植、生産物は直接市場へ出荷する。日系ファゼンダで分益農をしている日系戦後移民も7~8家族いるが他地方と比較すると生活安定している。</p> <p>(教 育)</p> <p>各ファゼンダには必ず小学校あり、大学はリベイロンブレット市、サンパウロ市へゆく、</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>日本語教育行わず。日本人会あり、会員約40名。</p> <p>(医療)</p> <p>市内に病院2、薬局6あり、日系人は出産、手術等みなサンタカーザへ行く。日系医師おらず。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>偏食12、農薬影響9、アビタノーゼ5、高血圧症4、妊娠3、慢性胃炎2、貧血症11、低血圧症6、腸寄生虫病4、肥満症2、糖尿病2、神経炎2、虫歯9、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>市内にサンタ・カーザ病院あり。入院、手術必要の際は、ここを利用する。日系人に対して好感をもっており不便はない。診療結果では特に農薬の影響が目立つ、農薬の使用には十分注意を要する。最近は以前に比較して環境変化その他の理由でシュツバンザが減少したためジャーガス病は殆んどみられないが、今回ジャーガス病症候を示すものが1件あった。今後の詳しい調査が必要である。</p> <p>又、十二指腸虫卵の寄生虫疾患が多く駆虫対策を講ずる必要あり。</p>
サンパウロ州モジ アナ線ミゲロポリス 市及び近郊	6/6	日系人 30家族	31名	同上	<p>(営農)</p> <p>分益農、借地農が多く自作農は少い。棉、米、ミーリヨが主産物で、特に棉がコーヒーにかわつて盛んになりつつある。機械化された大農式で、生産物は個人販売で組合の組織はない。特に貧困な家庭はなく平均して安定しているが、地代高く契約期間がきれると脱耕してゆくの今後日本人は減ると思われる。</p> <p>(教育)</p> <p>近郊に小学校4あるが、3年次までなので4年から市内の小学校へ出る、市内には中学校、実業学校あり、又大学はウベラーバ市、リベイロン・フレッツ市、サンパウロ市へ行く。</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>(医療)</p> <p>市内にサンタ・カタールザ病院1、開業医1、デンチスタ4(内2世1人)、ファルアシア6あるが、日系人は緊急の場合を除いて大部分はイツペラーバ市かウペラーバ市へ行く。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>農薬影響5、低血圧症4、高血圧症4、糖尿病4、肥満症5、偏食3、アミノノゼ3、慢性胃炎3、貧血症2、流行性感昌2、頑癬2、虫歯10、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>農薬中毒が増加し、管理使用には十分気をつけること。又非寄生虫病性の貧血や胃腸疾患を起すものが多いのは主食偏重による栄養障害であり、このためには主食を減らし動植物性蛋白質、ビタミン類、脂肪等を多くとる様改善し、更に新鮮な野菜を充分摂取するよう心がけること。</p>
サンパウロ州パレ ツトス市及び近郊	6/11~6/12	日系人 130家族	82名 男 32 女 50 大人64 小人18	同上	<p>(営農)</p> <p>大部分が借地農で当市から30km以内までは野菜作り、養鶏が多く米、ミーリヨ作りをしている農家は遠距離にある。近年土地購入して自作農になつてゆくものが増加している。全体の2/3は産組スール。ブラジル、コチアに加入し、産物はこれらの組合を経てフェーラ、マルカード、キタンダに出荷される。</p> <p>(教育)</p> <p>市内には中学5、高校3あり、郊外4~5kmの地区の子供たちは徒歩又は自転車で通学し、遠距離のものは市内に老夫婦と共に間借りするかあるいは一軒もつているかして通学している。非常に教育熱心であり、全体の約1/5が日系学生である。大学はサンパウロ市、リベイロン・プレット市へ出る。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>偏食31、貧血病18、低血圧病7、消化不良7、ノイローゼ6、動脈硬化病4、肥満症</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>4、腸内寄生虫病4、甲状腺肥大症3、慢性胃炎2、肝機能不全2、頸部リンパ腺肥大症2、更年期障害2、扁桃腺肥大症2、自律神経失調症2、老衰2、心不全2、期外収縮2、アミイバー赤痢1、糸虫感染1、虫歯44名</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>市内にサンタカーザ病院(全科)はじめ私立病院2、日系医師(皮ふ科)も開業している。この近辺にはシャーガス病の中間宿主であるバルベイロ龜虫の一種が棲息しており、必ずしも病源トリパノゾーマをもつていないとは限らないが十分予防しなければならない。食生活改善の必要あり。偏食、貧血病、血中蚤白質失之病がみられバランスのとれた栄養摂取の要あり。</p>
セララ州フオルタ レーザ近郊 ピオドセ植民地	7/17	日系人 5家族	31名	医師 武田 義信 助手 中畑 恭一	<p>(営業状況)</p> <p>野菜類、養鶏及び養豚が中心であり、各農家の耕地は約14kmと小規模であり雨期には、全部使えるが乾期になると一部しか耕作できないという不便さがある。市場は人口40万のFortalejaであるが、食生活の慣習上、野菜の需要は少い。</p> <p>(教育)</p> <p>本植民地内には小学校あるが二級になると子弟をサオルタツォーザに通学させている。</p> <p>(医療)</p> <p>本植民地内には緊急常備薬ならびに加療医務室はあるが医師の在駐なく見習看護婦一人でやりくりしている状態である。電燈、水道施設なく衛生環境は非常に悪い。</p> <p>(衛生管理上の問題点)</p> <p>赤道直下に位置するため寒暑の差が非常に激しく乾期、雨期に十分耐える衣類を揃えて日射病や感冒を防ぐこと。偏食、食餌貧血、アビタミノーゼ等、主食偏重からくる栄養障害が多い。食事改善を行う必要あり。又、十二指腸卵(50%以上)が多いことは駆虫対策の重要性を認識する必要あり、水質は不純物を含むため煮沸後過熱飲用すべし、風土病は</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>少いが肝ジス、中間宿主巻貝が多い。当地はCidadeより相当離れており応急処置必要の際は危険性あり。分娩は、大部分が家庭分娩を行なっている。今後の問題地であろう。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>貧血13、偏食12、低血圧9、農薬影響7、神経痛3、腸内寄生虫病3、アビタミノゼ3、流感2、蕁麻疹2、虫歯8</p>
リオグランデ・ド・ノ ノルテ州 スクレオ コロニアル・ピウン 植民地	7/19	9家族	27名 男 14 女 13 大人20 小人 7	同上	<p>(営 農)</p> <p>日系農家は各戸50町歩の耕地を割当てられてはいるが大部分の土地は放置されたままである。丘陵地の土壌はフレイアで自給自足程度の野菜しか作れず果樹栽培も少い。低地は入植当初野菜作りの計画のもとに入つたのであるが雨期を通じて水につかづてしまい話にならないと云う。従がつて、この土地を利用することは非常に困難であり、日系コロノは入植以来9年を経過した現在でも猶、自給自足的零細農の域をでない。</p> <p>(教 育)</p> <p>本植民地内に小学校があるが現在は閉鎖している。(開校時には約30名の生徒)中学校はNatal市にあり子弟を下宿通学させているが経済的負担は多く日語教育にまで手がまわりかねている状態である。</p> <p>(医 療)</p> <p>コロニア内の医療設備は皆無で、応急医療箱程度の備えがあるだけである。入院、手術必要の際は20kmのナタール市まで行つている。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>偏食15、貧血病11、低血圧症5、農薬影響5、急性消化不良5、肥満症4、高血圧症2、妊娠2、蕁麻疹2、虫歯14</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>熱帯ではあるが気候は一年中を通じて温和であり健康地といえる。蚊は少いがジストマ中</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>間宿主の魚は十分火を通して食べるようにし怪口感染を避けるべきである。又農薬の影響については慢性の中毒(アセルコリン蓄積)症状を訴えるものがあり、管理使用には十分気をつけるべきである。</p> <p>偏食による体力低下、貧血病が多く野菜及びブラジル食を常用すべきである。</p>
リオグランデ・ド・ ノルチ州 ナタール近郊 近郊 コロニアブナウ ウ植民地	7/22	8 家族	15 名 男 6 女 9 大人 12 小人 3	同上	<p>(営 農)</p> <p>各農家 5 町歩の耕作地を所有し、米作、蔬菜を主として栽培しているが低地で土質悪く雨期(1~7月)は殆んど使用不可能の状態である。土地酸性、アレイアブランカで収穫率は低い。米は反当 3~4 俵、5 町歩の内、3 町歩位は米作可能であるが無肥料では全く営農不可能である。この地帯は、水域よりも低いので永年作物を栽培してゆくためには、排水設備の施工が必須の問題となつている。肥料は牛糞が経済的にもよく現在多く使用されている。市場はナタール市であるが、少人口のため農産物の需要は低い。</p> <p>(教 育)</p> <p>小学校あり、中学校以上になると Natal 市で下宿通学、伯国人神父の好意で下宿は、月 15 コント位の実費以下であり、非常に感謝されている。日語教育は行なわれていない。</p> <p>(医 療)</p> <p>比較的気候条件に恵まれ、特筆すべき疾病もない。しかし、栄養摂取のかたよりからくる食餌性貧血病及び低血圧症、更に農薬の影響とが特に目立ち、今後食生活の改善と農薬の使用管理についての注意を喚起したい。一般的に当植民地は環境的にレベル良く、特に衛生管理上の注意点はない。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>偏食 11、貧血病 4、低血圧症 3、消化不良症 3、農薬影響 2、腸内寄生虫病 1、虫歯 11、</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
ベルナンブツコ州 ヌクレオ・コロニ アルリオ・ボニ ト植民地	7/25~ 7/26	日系人 41家族 伯人コロノ 30家族	31名	同上	<p>(営農)</p> <p>1戸当り10アルケールのロッテを所有し、トマトを主体とした蔬菜類を栽培している。その他にハポーリ・メランシア系の蔬菜類を作っており、現在殆んど短作で永年作は行なっていない。土質酸性で原始林なく、殆んど再生林で蔬菜類、果樹には非常に適している。現在、トマト価格も安定し今後増々盛んになる模様である。</p> <p>(教育)</p> <p>入植後、わずかであるため、日系青少年は労働力の一担を負い勉強する時間は殆んどなく放任されている。低学年の子供は、コロニア内の小学校(学童数80名)に通学、入植者父兄には、まだポルトゲースに堪能な者がおらず、今後、伯人コロノとの親密性を計つていく上に極力努力する必要がある。</p> <p>(医療)</p> <p>気候条件よく一年中を通じて温暖でしどぎ易い上に豊富な湧水に恵まれ非常に環境が良好である。当植民地で非常に問題となるのは農薬の影響である。主にホリドール系のものを使っているため農薬管理については十分な知識を有し慎重な注意が必要である。又、他地区同様、偏食傾向、貧血症及び低血圧病を程するもの若干あり、その他、腸寄生虫病特に十二指腸虫感染が多くみられる。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>偏食12、貧血症11、腸寄生虫病15、農薬影響6、低血圧症4、扁桃腺肥大3、消化不良症2、虫歯16</p>
ベルナンブツコ州 レシーフェ市内 及び近郊	7/27	日系人 市内 50家族 外 10 "	36名 男 25 女 11 大人27 小人 9	同上	<p>(営農)</p> <p>レシーフェ市近郊において蔬菜、養鶏を営んでいる。産物はレシーフェ市場へ送出する。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>偏食7、低血圧症6、消化不良病2、妊娠中毒病1、ノイローゼ1、急性肝炎1、胃潰瘍</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>1、期外収縮1、虫歯10、 (衛生管理上の諸注意) 市内は医療施設完備しており、市内在留の日系人は経済的にも安定している人が多く保健衛生上の問題点は特にみられない。特に小児マヒ、夏期のハイドレーション等、小児疾患には十分気をつける必要がある。</p>
リオ・デ・ジャネイロ 州 マルケス・デ・ バレツサ 移住地	8/17	40家族		医師 武田 義信 助手 中谷 正臣 後呂 定明	<p>(営 農) Rio de janeiro から180 km北西に位置し、40家族の日系人が入植してトマトを中心に栽培している。大部分が借地農である。大半がスール・ブラジルに加入し、コチア産組員は12家族である。 (教 育) 市内に小中学校および高校があり、日語教育は行なっていない。 (衛生状態) 市内に病院2、診療所2があり、虫垂炎その他簡単な手術はすべて本市の病院で行なっている。D.D.T撒布は年1回行なわれる。水質よく井戸と便所との距離も5 km以上はなれており特筆すべき伝染病はなかつた。</p>
リオ・デ・ジャネイロ 州 カシヨエイラ ス・ド・マカクー郡 フンシヤール 移住地	8/18	日系人 44家族	11名 男 55名 女 6名 大人 9名 小人 2名	同 上	<p>(営 農) 各戸平均4アルケールを所有しておりパーージェン、キャボー、ジロー、トマト、ピーマンナス等を中心とした蔬菜園芸が盛んであり、又養鶏も行なわれている。組合はすべてコチア産組に所属。 (教 育) 事業団建設の小学校あり。又、子供会、農協クラブ、婦人会、部落会があつて活発な活動を行なっている。カシユエイラ市には中学校1校あり多数の日系学生が通学している。</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>(衛生状態)</p> <p>本移住地は無医村であるが、カシエイラ市には病院1、医師4人が診療所を開業。DDT撒布は年2回保健所により行なわれる。急病の場合は、リオ・デ・ジャネイロ市(1時間半)まで行く。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>偏食6、皮膚湿疹3、低血圧症3、貧血3、高血圧症2、農薬の影響2、虫歯9</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>家庭木造で井戸にもふたがなく水質も悪いので簡単な浄水器が必要である。又、農薬の使用管理上の注意が大切である。疾患者は対症療法を行い、バム、ババベリン、アトロピナーゼ等で置ちに療法を講ずべきである。</p>
バイナ州 マッタ・デ・サン ジョン郡 クビチ ック移住地	8/22~ 8/23	日系人 80家族	84名	同上	<p>(管 農)</p> <p>1家族当り25町歩を有し生産物は鶏卵、トマト、ピメントン、キュウリ、フェジヨン、ナス、アバカシー、アラクージャ等で特にトマト、養鶏はさかんである。組合は州政府組合、マラクージャ組合、養鶏組合、野菜組合がある。</p> <p>(教 育)</p> <p>コロニア内に小学校(ポ語)あり、広範囲のためルンダ地区とイタピシリカ地区に1つづつの小学校がある。中学校は10km離れたマッタ・デ・サンジョンに通学している。</p> <p>(衛生状態)</p> <p>コロニア内に政府(連邦及び州)の建設したルンダ診療所があり、医師及び歯科医は週に1度来所、看護婦は常駐している。すべて無料、手術は設備不足のため行なつておらず、DDT撒布は年一度、水質良好で水道、水洗便所は各戸完備している。入植以来マラリアが時々発生。</p> <p>1965年4月~8月までの日系人疾患統計は</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>風邪56、外傷42、貧血30、急性下痢16、白癬10、農薬中毒10、結膜炎10、蕁麻疹8、マラリア7、神経痛6、皮膚湿疹5、蛇咬傷3、虫歯3、耳炎2</p> <p>(疾病統計)</p> <p>貧血25、偏食29、農薬の影響20、腸内寄生虫病9、消化不良6、慢性胃炎4、結膜炎3、妊娠3、ビタミン欠乏症2、漆関節炎2、扁桃腺肥大5、痔裂1、頸部リンパ腺腫脹5、ノイローゼ4、高血圧2</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>特筆すべき疾病は腸寄生虫病(特に12指腸)とマラリア疾患後の貧血等である。腸内寄生虫に対しては学童、移住者、伯人労務者全員に駆虫剤を服用させるべきである。マラリアに対しては、アラレン、カモキン、ダラクロール等の抗マラリア剤を常備薬として持ち出来れば肝臓強化剤も必要である。他地域同様農薬使用管理上の注意を要する。</p>
<p>バイア州 イツベラ移住地</p>	8/25	<p>日系人 8家族</p>	<p>22名 男 13 女 9 大人14 小人 8</p>	同上	<p>(営 農)</p> <p>本移住地はイツベラ市(人口2000人)西方7kmに位置し、政府建設の植民地である。1戸当り平均5アルケールを所有し、クラボーゴム、デンデン、ピアサーバ、ラランジャ、野菜を栽培している。地質よく、クラボーゴムの木が8年目を迎えており、経済面では向上しつつある。</p> <p>(教 育)</p> <p>コロニア内に小学校1つあり、中学校、高校はイタブナに通学、コロニア内の小学校には有能な教師が来ないので問題が多い。</p> <p>(衛生状態)</p> <p>無医村、イタブナ市には医師一人のみ、DDT撒布は保健所により年一回行なわれる。海拔が高いため井戸なく飲料水は雨水、川水を用いるのでマラリア病患者が度々でる。</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>(疾病統計)</p> <p>貧血9、腸内寄生虫病6、農薬の影響4、気管支炎2、扁桃腺肥大症2、頸部リンパ腺腫脹2、心音異常1、発育不良1、アレルギー体質1、ビタミン欠乏症1、</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>検便者26名中21名寄生虫陽性(76%)を示し、その内42%が蛔虫卵及び十二指腸虫卵の検出がみられたことは、重要な問題である。この原因は大部分の移住者が素足であるため十二指腸虫の皮膚感染によるものと思われる。又、水道施設は早急に設けられるべきである。</p>
<p>イバイア州</p> <p>イタブナ部</p> <p>ウナ移住地</p>	8/27	<p>日系人</p> <p>20家族</p>	49名	同上	<p>(営農)</p> <p>本移住地はイタブナ市西方120kmに位置し、連邦政府建設のもので各戸平均30~40ヘクタールを所有している。平均ゴムノキを5000本栽培、組合はなくゴムはアマゾナス銀行が強制買付を行なっている。現在価格はよい。その他野菜、マンジョカー、アバカラーの栽培が行なわれている。</p> <p>(教育)</p> <p>小学校1つあり、ウナ市には中学校がある。日語教育行わず、日本人会あり。</p> <p>(衛生状態)</p> <p>本植民地は無医村であるが、約9kmはなれたウナ市には医師一人、薬局2ある。本地方はマラリアは年中発生し、本年4月には悪性マラリアの流行で、日系人にも相当数の患者を出したが死亡者はなかつた。DDT撒布は年2回、又、マラリアで死者が出るような時は州政府より衛生班が来るとのことである。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>貧血20、腸内寄生虫病19、マラリア再発4、ビタミン欠乏症4、肥満症2、高血圧1、月経困難症1、漆関節炎1、脳性小児麻痺1、慢性皮膚炎2、膀胱カタル1、胃潰瘍1、</p>

巡回地域	期間	入植戸数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>低血圧1、肝臓機能障害1、動脈硬化症1、ランユマニオーゼ2、 (衛生管理上の諸注意)</p> <p>特筆すべき疾患はマラリア、寄生虫(十二指腸虫、蛔虫)、Penfigo Foliaceo病(森林やけど)である。マラリアは年中発生しており、ダラクロール、アラレン、カモキンを常備すべきである。年2回のDDT撒布はあるが十分ではなく、雨期に蚊の発生率も多くゴム採取は森林内の作業のため危険性が強い。又、蚊の侵入を防ぐためにも家庭構造に十分留意する必要あり。寄生虫対策としては子供を裸足で歩かせないこと、駆虫剤の持続服用がある。Peufigo Foliaceoはアヨによつて媒介され病原はVirusといわれている。これは、水泡から皮膚炎に変わり表皮が剥げ淋巴液が流れおち汚く悪臭を発する疾患で、輸血血精療法、副腎皮質ホルモン抗生物質が必要となり、患者が出ればサンパウロの研究所では無料で診察している。</p>
サンパウロ州 サンベルナルド・ ド・カンボ ミズボ移住地	7/18	日系家族数 116戸 802人	99名 男 52 女 47 大人22 小人77	医師 細江 静 男 木原 暢 助手 後呂 貞 明 小畑 博 昭 中谷 正 臣 岩中 透 副手 広瀬 和 松苗 絹 江 小畑 和 子 山内 夾起子	(営 農) 大部分の入植者は養鶏を営み平均700羽前後を有している。組合はサンベルナルド農業組合に加入、経済状態も全体的によく今後養鶏の本場として発展すると思われる。 (教 育) 植民地内に小学校、幼稚園が各1校あり、約6km離れたサンベルナルド・ド・カンボに中学校4校(含商業校)高校2校、師範1校、大学3校がある。生徒数は日系人小学生87人、中学生50人、高校生10人、大学生8人が在籍。青年会、婦人会あり活動活発、日本映画会各種講習会も月2~3回開かれモデルケースをめざして活発である。 (医 療) 保健所によるDDT撒布なし、6km離れたサンベルナルド・ド・カンボ市内に約10軒の開業医あり、病院4つある。 (疾病統計) 貧血36、頸部リンパ腺肥大44、心音異常11、扁桃腺肥大9、腸寄生虫病6、風邪4、高血圧4、慢性扁桃腺炎3、結膜炎2、虫歯14、

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
サンパウロ州 ビラル・ド・ スール地方	9/12	250 家族 含ピンアー (ル耕地)	106名 成人68 小児38 男47 (女59)	医師 細江 静 男 武田 義 信 大野 悟 朗 助手 中谷 正 明 後呂 貞 明 降旗 初 子 副手 板根 隆 典 広瀬 和 子 塚協事務局 小畑 博 昭	(営 農) 本地はサンパウロ市よりピエターチを経て、約140km位で地理的によく、更に土質はテラロンヤで良好、地形平坦で万作に適している。最初パタタ栽培であつたが現在はトマトを中心にした野菜栽培が行なわれ、又、次第に永年作物として果樹に切り換えられつつある。 この地方の気候条件は標高650~750mの高台で雨量少く空気が乾燥しており気温も年間を通じて涼しく抑制栽培に最適である。殆んでの入植者は自作農である。 (教 育) ビラル、ドースール市内グルツボの外に中学校まであり約30人の日系生徒就学。日本語学校は地元文化協会経営の本校と分校があり、就学生徒合計100名、他に日系裁逢学校があり15~20名就学、一般に生活が固着せず生活におわれて教育にまで十分手が回っていないようである。 (疾病統計) 貧血16、腸寄生虫病11、農薬影響10、偏食11、高血圧8、気管支炎8、頸部リンパ腺炎4、感冒3、喘息3、ノイローゼ3、消化不良2、アレルギー2胃潰瘍2、乳児湿疹2、肥満疾2、低血圧2、ペラグラ2、リウマケス2、睦炎2、胃炎2、ソコヒ2、 (衛生管理上の諸注意) 本地方は全くの無医村であるから年2回以上の巡回を行ない、家庭衛生、個人衛生について正確な知識を普及する必要あり。
サンパウロ州 JAMIC ビニヤール耕地	9/12	36 家族 200名		同上	(営 業) ビラル、ド、スール町より20km、耕地総面積320アルケールス、土質テラローシアに近似、1戸平均4.5~5アルケールスを耕作。現在、トマトを中心に果物(桃、ポンカン、リンゴ)を植付けている人が多い。

巡回地域	期間	人植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>養鶏総羽数約700羽、標高730m前後でサンパウロより冷涼の為、養鶏、果物等に有利な点が多い。</p> <p>(教育)</p> <p>生徒数54名、教師2名のグループあり、中学校はPiral do Sulに通学(2名)。</p> <p>(医療)</p> <p>食料品は殆んど組合から購入、動物性蛋白質も容易に手に入るが、日本の食生活から脱皮出来ず脂肪の摂取が少いようである。家屋は99%が板かべ、泥かべの家で屋根は瓦葺きである。</p> <p>便所は2~30m母屋から離して掘抜きであり消毒はゆきとどいている。井水は水質よく、レンガが巻いてあつて清潔である。</p>
サンパウロ州 中央線 アルテヤ地区	10/3	120戸 (700人)	71名 男31 女40 大人48 子供23	医師 武田 義 信 大野 悟 郎 歯科医 小副川 良 三 助手 中 畑 恭 一 後 呂 定 明 副手 坂 根 隆 典 米 村 ジ ョ ー ジ 広 瀬 和	<p>(営 農)</p> <p>日系人の内、市内でキタダ、時計店、ポスト、レストランテ等を行つているもの3軒あるが他の120家族はすべて営農、組合は南伯組合員が4割、コチア産組10家族、マウア一産組10家族である。果樹及び養鶏を行なうグループと果樹と野菜の組合せのものに大別できる。</p> <p>耕地面積は1農家当り5アルケール平均、自作農は全体の2/3、借地農が1/3である。入植当初は patate、トマテ栽培が中心であつたが、次第に養鶏、果樹にかわり、現在では果樹栽培主体となつている。果樹はイタリアブドウ、桃、柿が主で、特に今後は桃栽培は有望である。又、当地は、サンパウロに近く有利性大である。土壌はアサツベ類の酸性土であり、又一部はテラロシアもあるが一般に古い土質で無肥料では殆んど作物は出来ない状態であるが、気候条件及び一部土質が桃栽培に適しているためかなり実績を挙げている。</p> <p>(教 育)</p> <p>アルジャー郡内には小学、中学課程あり、高校教育はサンパウロ市内へ下宿させて通学。</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>当地区では日系人の就学率よく現在大学コースに4～5人通学している。日語教育に関しては、日語学校の他週3回夜学を開校して指導にあたっている。</p> <p>(医療)</p> <p>当地には日系医岩井博文氏が開業医として活躍しているが医療設備は不十分である。地理的条件がよいためサンパウロ市、スザノ、モジダス、クルーゼスへ1時間以内で行けるのは有利である。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>貧血症16、本能性高血圧13、偏食11、慢性胃炎6、農薬影響4、アビタミノーゼ3消化不良症3、流行性感昌3、慢性気管支炎3、本能性低血圧2、肝機能不全2、月経困難症2、慢性便秘症2、アレルギー性本質2、蕁麻疹2、慢性扁桃腺炎3、</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>寄生虫罹患(12指腸虫卵)が高率で約3割の陽性率が示した。この原因としては、湿地帯が割合多く便所の不完全さ、その他の人的条件即ち伯人カマラードとの接触、環境居住状態から寄生虫感染が多いものと思われる。即ち虫卵の好適環境の阻止、便所の改良、糞尿処理の問題、殺卵剤散布など駆虫対策に留意する必要あり。その他の疾病としては13名の高血圧症を認めたが本能性のものが多く特に配慮する必要はないが食餌上の注意は十分気をつけるべきである。</p>
クリチーバ市 バラナグラ チユキヤ イグワツベ ビグロ地帯	11/1～11/3	日系人 170戸		医師 細江 静 男 助手 後 呂 定 明	<p>(イ) 研修医募集について</p> <p>Rua dr Murzer 275のUGCを訪れ研修医募集について懇談し、留学はほぼ確実である旨返答を得た。本年医科を卒業する学生は15名あり、その内5名は日本語を話すことができ近々履歴書を送付すると思うとのことである。</p> <p>(ロ) UGCの医学生による奥地巡回診療について</p> <p>本年度も実行したいので補助を願う旨であつた。本年度は医学のみでなく農村、経済、</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>営農等混合組織で行くとのことである。</p> <p>(一般状況—パラナグワ)</p> <p>パラナグワ市はパラナ州唯一の門港で人口50万日系人は1200余名、農業及び商業に従事する。営農は野菜、果実等を栽植している。暑い日には40°C、平均35°C~36°Cマラリア他ライスマニア及び腸寄生虫病等ほとんど全ての熱帯病あり。</p> <p>(一般状況—イグワツベ地帯)</p> <p>イグワツベ、バルサ附近の沿線に約10戸の日系人あり。市内には10家族の日系人が在住。イグワツベからビグロに至る50km内外のビグリ街道の沿線に60家あり野菜、果樹の栽培に従事。</p> <p>この地帯は3時間半でサンパウロに至る農場経営に有利なところであるが、保健衛生面からみると非常に恵まれない地域の1つである。</p> <p>(パラナグワにおける疾病統計)</p> <p>動脈硬化症5、扁桃腺炎2、ペラグラ2、心音異常2</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>大部分、文化、教育、保健面で忘れられた地帯である。マラリア ライスマニオーゼ、腸寄生虫病、肺病等の疾病も多く毎年の巡回指導を必要とする。</p>
サンパウロ州 中央線サンタイザ ベル郡地域	11/7	160家族 700名	66名 男27 女39 大人40 小人26	医師 細江 静 男 武田 義 信 木原 暢 小副川 良 三	<p>(営 農)</p> <p>1戸平均10アルケールを所有しスール・ブラジル産組、バンデランテ産組、中央産業組合に加入、主としてトマト、養鶏、果樹、その他野菜を栽培。</p> <p>(教 育)</p> <p>伯国小学校9校、中学校1校あり、日語教育は行なわれていない。生徒数は合わせて1400名余。</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
				助手 中谷正臣 後呂定明	<p>(医療)</p> <p>本市内にサンタ・カーザ及びポスト・デ・サウデの2つがあり2名の医師が常在している。二世医師もいる。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>(貧血22名、農薬中毒5、腸寄生虫症5、心音異常4、低血圧3、頸部リンパ腺腫脹3、更年期障害2、下肢静脈2、アレルギー性湿疹2、ペラグラ2、甲状腺肥大1、流感1、胃下垂1、ノイローゼ1、本能性高血圧1、角膜翼状片1、左鼠径ヘルニア1、慢性気管支炎1、神経痛1、レイノー氏病1、アトニー性胃炎1、)</p> <p>本地方は医師もおり又経済面もよく、サンパウロ市の近郊のため急病の際はサンパウロ市へ出向く。</p> <p>腸寄生虫症が検便の結果でも伴るように43.5%を示し、貧血、頭痛、発育不全、腹痛その他の原因となつている。特に12指腸虫腸生者が多い。年2回程度の駆虫剤服用が大切である。</p> <p>又、本地方は農薬使用者が多く農薬による影響も多い。使用的及び使用後の注意が必要である。</p>
アチバイヤ市 スールブラジル 組合	10/24		受講者 男20名 女40名	講師 細江静男 武田義信	アチバイヤ男女青年会主催衛生講演会 (性教育について) - 細江医師 (食生活について) - 武田医師
タイアーノ移住地	9/17~9/28			嘱託医 今田求	<p>(本地方の概況)</p> <p>ポアビス市から東北東90kmの地点にある本移住地は、牧畜適地として、ポアビスタ市に必需産物供給のために計画されたコロニアであつたが成功はしていない。牛は全体で約18万頭ほど飼育されているが次第に減少の途にある。</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>(保健衛生上の注意)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 移住地内ポストメジコには医師常駐せず救急薬が常備されている程度である。しかし急病の際にはポアピスタ市まで行くための交通機関はない。病院、産院はポアピスタ市にあるが、眼科、耳鼻咽喉、精神科等はない。 2. ロライマ地区CEM活動(Campanha de Erradicação de Malaria)によって当地からは、マラリアはほとんど撲滅されたといつてよい。 3. 寄生虫保有率は最近著しく減少しているがその原因としては移住地内の便所改善、白人労働者を雇わないこと、集団検便と駆虫の効果があったこと等があるが、今後とも集団検便を行い常時着視することが必要である。トラホーム患者は昨年中よりも増加、家族内感染のためである。 4. 扁桃腺肥大症はポアピスタ慈善病院にて手術可能であるが、摘出医師おらず。 <p>(疾病統計)</p> <p>扁桃腺肥大4、虫垂炎2、精神異常1、低血圧1、トラホーム1</p> <p>(マラリア対策)</p> <p>DDT屋内噴霧法 7.5% DDTを1軒当り750~1000g を水溶液として内壁に噴霧しておけば、外部感染はやむを得ないが、大流行になるおそれ丈は阻止できる。</p>
ベラピスタ移住地	9/17~ 9/28			同上	<p>(一般状況)</p> <p>経営主体INDAが積極的に営農指導を行つているがさほどの効果が得られない、まず地券の下附が問題となるが、国境地帯にあるため困難である。教育については従来通学距離が永すぎたため通学困難であったが、今後4km毎に教室設置の予定である。保健衛生の方では従来中止されていたポストメジコが復活され毎週木曜日に医師、歯科医が出張して診察している。</p> <p>しかし、これも単に医療(診断と医薬)を移住者に与えるだけでは、根本的解決にはならな</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>ない。常に衛生教育を徹底させ保健衛生の根本が理解されなければならない。</p> <p>腸内寄生虫については今日まで数年にわたって連続実施された集団検便の結果、保有率は60～70%から20%以下に低下したところが多く、年々検便の必要を訴えてくるものが増加している。</p> <p>マラリアについても、年2回CEMによつて行なわれたDDT噴霧法により、感染力をもつアノフェレスは殆んど死滅しマラリアは次第に撲滅されようとしている。</p> <p>トラホームの場合には、巡回毎に集団検診を行なつて治療と伝染予防を指示することにより患者は減少。</p> <p>移住地ポストメデコが設置されても、衛生知識の普及がなされなければならない、現在ではほとんど近寄らないことが多い。ブラジル奥地では、個人を対象とした治療を行なう方が集団検診よりも効果的であろう。</p> <p>(今後の問題点)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. INDA、衛生局、SESP、CEM、DENERU、大病院、地方医師との連絡をよくしそれ等の手の及ばない所を巡回医が補足することが望ましい。 2. 巡回用ジープ等を配置し集団検診の形から、戸別訪問にした方が非常に効果的である。 3. 移住者側の救急箱担当者、助産婦、保健婦を中心として移住地内衛生部をもうけ自主性ある保健衛生活動を推進する。 <p>(巡回診療を改善するために)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入植者の巡回医への要求は、日本語で詳細な保健相談をすることであり、そのためには集団検診ではなく十分時間をかけた戸別訪問である。 2. 日系人移住者に限らず広く地区全体の人々の検診を行つてゆくこと。 3. ブラジル衛生局、INDA、SESP、CHMとの精密なる連携が必要である。 4. シネマ、スライド等による視聴覚衛生教育資料の必要がある。

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
アラニオン州 サンルイス郡 ロザリオ郡		10/15~ 10/21	ムルアイ 12家族 69人	囑託医 今田 求	5. 基礎的衛生調査必要、(1)経済的調査(2)気象学的調査(3)人文環境調査(4)生活食習慣調査 (5)人口構成及び動静態調査(6)保健状態(7)移住知の環境衛生調査 (ブラジル三大農村病について)
			ロザリオ 7 家族 74人 サンタフェ 6 家族 34人 エストラダ・ ノバ 10家族 53人	援協事務局長 山内 登 駐在員 谷 正一	<p>1. トラホーム ムルアイ移住地に9人のトラホーム患者があつたのを昨年発見して治療法を指示したが今巡回でも治つていない。治療に関心のないためと思われる。</p> <p>2. 寄生虫検便 ムルアイ移住地では場所、器具の関係で行えず、サンタフェは一件も検便なされず。エストラダ・ノバでは2家族全員12指腸虫に高度感染。</p> <p>3. マラリア 年1回のDDT撤布とCEMによつて決められているが1960年に1度行なわれたにすぎない。ロザリオには4人のマラリア疾患が居る。マラリア対策費の用途については未使用ではないかと思われる。DDT、EHCの購入もみられなかつたし、又、対策費の移住地均分は効果少く、DDT撤布の不完全なロザリオ、モンテアレグレ、マタヒー、カンボグエルデイノン重点的配分すべきである。マラリア予防及び治療に関する知識は低く、マラリアに関するパンフレット等の配布の必要がある。</p> <p>4. 診察統計 腹痛5、風邪5、乳房炎4、リウマチ4、扁桃腺肥大2、</p> <p>5. 手術(19日 慈善病院於) 膀胱脱、指甲粘液炎腫、精系結核、先足趾下炎腫、衰弱、</p> <p>6. 予防薬投子 天熱痘の種痘、BCG、百日咳、チフテリア、破傷風、小児麻疹用SABIN</p>

巡回地域	期間	受診者数	入植者数	巡回者名	巡回状況及び結果
モンテアレグレ部 アサイザール ドイスガーリヨス 移住地	10/28 11/2			今田 求 本田 勝之	<ol style="list-style-type: none"> 1. マラリア 蚊は漸時減少しているがマラリア患者は8名あつた。これはCEM於てトカンチンス河以西は年1回のDDT撒布と決定したためと思われる。予防薬服用を励行する必要がある。 2. 寄生虫検査 検査全数12指腸虫卵 塊、虫卵陽性。 3. トラホーム 2才~14才の児童7名疾患、家庭衛生改善が必要。 4. その他の疾病 アデノイド1、扁桃腺肥大1、腰痛神経痛2、下痢2、内臓下垂1、胃潰瘍2、 5. 幼児保健 5才以下12人、10才以下36人の幼児はBCG種痘、三価ワクチン、Polioワクチンの接種なし。 6. 契約医の謝金 児童の予防接種、及び移住者治療費の割引、定期的往診等の遂行は現在の謝金では少なすぎる。
サンパウロ州 サントアントニオ郡 リノポリス サントアントニオ	11/20~ 11/21		50名 男 26 女 24 成人38 小人12	医師 細江 静 男 武田 義 信 助手 後呂 定 明 副手 坂根 隆 典	(疾病統計) 農薬影響14、偏食11、貧血10、腸寄生虫病7、心音異状7、低血圧7、高血圧5、ベラグラ4、胃炎3、アレルギー皮膚炎3、扁桃痛3、肝肥大2、腰痛2、 (本地方衛生管理上の注意) 本地方には、マラリア、フェリダブラバ、プラストミューゼ外黄熱病等はなく健康地であるが腸寄生虫偏食、及び農薬の影響が目立っている。衛生知識及び食生活の改善を極力指導する必要がある。

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
ミナス州 ペロオリゾンテ郡 イガラツベ地方	11/10~ 11/24			医師 木原 暢 助手 中谷正臣 副手 米村ジョージ	<p>(疾病統計)</p> <p>貧血3、急性腸炎3、 部淋肥腺肥大2、寄生虫症2、座骨神経痛1、左角膜翼状片1、アトニー性胃炎1、心臓僧帽弁膜症1、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>本地方は無医村であり、急病時には約40km離れたペロオリゾンテの病院利用。マラリア等の熱帯病は本地方にはないが、肝臓ジストマ及びジャーガス病による死亡者が多い。ジャーガス病はトリヤトマ(昆虫)によつて媒介され発育不全、心不全、悪性浮腫等を起す。現在治療薬は発見されておらず必ず蚊帳をつつて寝るよう心がけなければならない。又BHC20%液の室内撒布も3ヶ月に一度位行なつた方がよい。</p>
ミナス州 ペロオリゾンテ市	同上		24名 男 16 女 8 大人23 小人 1	同上	<p>(疾病統計)</p> <p>低血圧2、胃12指腸潰瘍2、アレルギー性皮膚炎1、狭心症1、不眠症1、慢性下痢症1、蕁麻疹1、両趾間部白癬1、心不全1、シモンズ氏病1、急性肝炎1、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>医療施設には危険なし。日系医師1名在住。本地方は低血圧が多く過労、粗食に起因する場合が多い。</p>
ミナス州 ペロオリゾンテ郡 ベツチン地方	同上		24名 男 14 女 10 大人11 小人13	同上	<p>(疾病統計)</p> <p>寄生虫病7、液尿症2、トリコモナス1、頸部淋肥腺肥大症1、ビタミン欠乏症1、角膜翼状片1、趾底部角化症1、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>ペロオリゾンテ市より約18km内外にあり重要な野菜生産地帯として日系移住者が増大しつつある。熱帯地方に稀な健康地であるか、なお一層農業、食事等に注意する必要がある。</p>
ブラジル連邦区 バージェン・ポニート	11/10~ 11/24			医師 木原	<p>(疾病統計)</p> <p>外痔核1、舌癌1 扁桃腺肥大症1、風邪2、アレルギー性皮膚炎1、不眠症1、気管支</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
	11/10~ 11/24			助手 中谷正臣 副手 米村ジョージ	<p>喘息1、慢性下痢症1、カタル性鼻炎1、低血圧1、バセドウ氏病1、</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>家庭構造悪く、木造建築でハエその他昆虫の侵入容易のため腸炎、眼疾等を起す懸念あり。金網を張り更にDDT、BHCを常備する必要がある。又、食品衛生も入植当初はおこりがちであるが十分指導しなければならない。当地方は、野菜栽培に従事している人が多く、農薬使用に関する注意、特に有機水銀剤に対する予防及び治療法の熟知が必要である。当地はブラジリアに近く将来、家屋、水道等の設備が完備されると同時に野菜栽培は非常に有利と思う。</p>
ブラジニア連邦区 リオ・ブレット地方	同上		52名 男 35 女 17 大人33 小人19	同上	<p>(疾病統計)</p> <p>低血圧4、アントニー性胃炎1、扁桃腺肥大症1、習性下痢1、趾間部白癬1、高血圧1、</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>本地方は入植後3年で野菜作りが主体である。家屋木造であるが特筆すべき疾病はない。特に蛇毒血清、農薬に対する注意が必要である。</p>
ブラジリア連邦区 ヌクレオ・パンデ ランテ地区	同上		89名 男 41 女 48 大人59 小人30	同上	<p>(疾病統計)</p> <p>慢性胃炎4、左下肢静脈瘤3、低血圧1、慢性虫垂炎1、高血圧1、心臓弁膜症1、リウマチ1、扁桃腺肥大1、胃下垂1、鼻カタル1、急性下痢症1、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>ブラジリア連邦区内で第一の近郊、商、農都市で衛生管理面での問題は少い。</p>
ブラジリア連邦区 タグアチンガ地方	同上		62名 男 23 女 39	同上	<p>(疾病統計)</p> <p>低血圧8、高血圧5、リウマチ3、習性下痢3、胃炎2、アレルギー性皮膚炎1、丸水腫1、脂肪腫1、白癬1、肝炎1、眼結膜炎1、扁桃腺炎1、</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
	同上		大人48 小人14		(衛生管理上の注意) 低血圧症が特に多いが、気候気圧その他の因子と同時に過労及び栄養に原因していると思われる。
ゴヤス州 アナボツス市 及びその近郊			34名 男 15 女 19 大人26 小人 8	同上	(疾病統計) 寄生虫7、低血圧3、貧血3、心機能障害3、高血圧2、神経痛2、五十肩2、アメーバ一赤痢1、リウマチ1、胃酸過多症1、角膜翼状片1慢性胃炎1、 (衛生管理上の注意) 入植以来30年を経過し保健衛生に関する知識も深く問題は無いが、寄生虫保有者が多いことが目立。
ゴヤス州 ゴアニヤ市 及びその近郊	11/10~ 11/24		18名 男 11 女 7 大人12 小人 6	医師 木原 暢 助手 中谷正臣 副手 米村ジョージ	(疾病統計) 高血圧3、低血圧2、気管支喘息1、リウマチ1、耳聾1、趾間白癬1、胃下垂1、慢性胃炎1、顔面神経痛1、慢性気管支炎1、 (衛生管理上の諸注意) 本地方は医療機関は完備している。当地は湿度が高くリウマチ疾患が多い、リウマチ治療薬副腎皮質ホルモン(コルチゾン系、ブタゾーナ系)は副作用が多いので乱服しないよう注意すべきである。
ミナス州 ウベランジャ地方	同上		13名 男 5 女 8 大人11 小人 2	同上	(疾病統計) 高血圧5、リウマチ2、アレルギー性皮膚炎1、咽喉癌1、ヘルニア(帯)1、 (衛生管理上の注意) 当地は大部分が旧移民であり、経済面では向上しているが衛生知識が不足している。
ミナス州 ウベラーバ地方	同上		23名 男 10	同上	(疾病統計) 低血圧3、慢性胃炎3、リウマチ2、貧血2、中風1、風邪1、下肢静脈瘤1、

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
			女 13 大人 17 小人 6		<p>(衛生管理上の注意)</p> <p>ゴヤニアまで均7時間であるが、アソファルトのため便利が良い。医療機関も恵まれている。特別な疾患はないが、ゴヤニヤよりウベラーバにかけてリウマチ疾患が目立つ。早目に血液検査ローマ反応を受ける様注意の要ある。</p>
第2トメマス	11/4~ 11/7		10名	医師 今田 求	<p>(疾病統計)</p> <p>寄生虫1、白皮血トラホーム1、アレルギー性皮膚炎1、妊娠4、グリツベ1、</p> <p>(移住地衛生)</p> <p>前回の種痘は不善感のもの多く、再種痘の必要がある。又、破傷風、ジフテリア、百日フクテン、BCGを投与したい。移住者全員の医療保健カードを作成したい。</p>
パラナ州 シアノルチ市 及び近郊	12/2~ 12/18	郊外 24家族 市内 133家族	64名 男 25 女 39 大人 35 小人 29	医師 武田 義信 助手 中畑 恭一 副手 米村 ジョージ	<p>(営 農)</p> <p>シアノルチ市近郊に24家族在住、農業に従事する、カフェー樹を主体とし綿、トモロコシ、フエジョン、米等を栽培している。カフェー樹は6,000~10万本を有す。所有土地は5アルケール~20アルケール、平均15アルケールを有す。土壌は幾分砂質を帯びたテラロツシャである。組合はいまだ結成されず個人で出荷している状態である。</p> <p>(教育及び文化)</p> <p>市内に中学校2校、商業、高等師範学校まである。日語教育にも力を入れ、日語新聞は約80%が購読している。</p> <p>(医 療)</p> <p>市内に病院3つ、医療従事者21(産科医も含めて)名おりほとんど不自由を感じない。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>食事に注意を要するもの32、貧血症15、低血圧6、急性胃炎6、腸寄生虫病5、アレルギー性皮膚炎3、アピタミノーゼ3、慢性扁桃腺肥大3、脳出血后遺症2、高血圧1、分娩后脱肛1。</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>農薬の影響1、ノイローゼ1、肝機能不全1、腸チフス後遺症1、慢性湿疹1、顔面白癩症1、</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>検便虫卵検査で2割弱の陽性率(12指腸虫卵)があり今後の感染拡大をさけるよう留意の要あり。</p> <p>又、低血圧症が比較的多く労働、栄養状態に注意し体力補強に努めるべきである。</p>
<p>パラナ州 グワイーラ市及び その近郊</p>	<p>12/6</p>	<p>市内 5家族 市外135家族</p>	<p>56名 男 29 女 27 大人39 小人17</p>	<p>同上</p>	<p>(営 農)</p> <p>郊外に135家族在住、耕地平均20アルケール棉、米、フェジヨン、ミーリヨを中心に営農している。カフェーは降霜のため一部しか植付されていない。単位面積当りの収穫量は、アルケール当り棉 250アロバ、ミーリヨ100俵、フェジヨン40~50俵、日系農家の平均収入は約2,000~3,000コントス(純利益)程度である。組合はスール。ブラジルに120家族、コチア産組80家族加入し、産物はすべてサンパウロ市へ出荷している。</p> <p>(教育及び文化)</p> <p>グワイー市には小学校10、中学校2ある。日本語学校は日会、文化協会にて開校されている。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>食事に要注意20、貧血症17、農薬影響8、腸寄生虫病6急性胃炎5、高血圧3、更年期障害3、膿疱疹2、ノイローゼ3、感音系難聴3、小児喘息2、下痢、慢性胃炎1、慢性肝炎1、動脈硬化症1、ハンセン氏病1、リウマチ1、熱帯潰瘍1、マラリア1、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>当地区には病院が1つあるのみであり十分とは云えない。過去10年前まではマラリア罹患数は非常に多く毎年40~50人もあつたが現在はほとんど無いといつてよい。しかし当地は低湿地でマラリア媒介のアノフェレス蚊も多いのでDDT撤布は州政府より年2</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>回行なわれている。</p> <p>農薬慢性中毒症は8件あり農薬の使用管理には十分注意することが肝要である。</p> <p>又、マラリア1名、レブラ(ハンセン氏病)患者1名あり隔離及び適確な治療がなされていないことは大きな問題である。</p>
パラナ州 ウムアラマ市 及び近郊	12/7~ 12/8	市内174家 市外100家	53名 男 19名 女 24名 大人37名 小人16名	同上	<p>(営 農)</p> <p>カフェーを中心として棉、ミーリヨ、フェジヨン等を栽培しているが降霜があるためカフェーから次第に棉、ミーリヨに移行しつつある。土地が肥沃なため、かなりの生産があげられ安定した営農を行なっている。農業の外に牧畜、林業等多方面にわたって日系人の活躍がみられる。</p> <p>(教 育)</p> <p>市内には高等学校課程まであり日系就学率が高い。日語教育は日本人会館に於て学童数90人を集めて充実した授業を行なっている。</p> <p>(医 療)</p> <p>市内に病院6あり医療設備完備。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>食事に注意を要するもの21、貧血症18、高血圧8、消化不良症6、低血圧5、腸寄生虫病5、気管支喘息3、慢性胃炎3、ノイローゼ3、肥胖症3、胃・十二指腸潰瘍2、外傷2、神経痛2、急性鼻炎1、鼻茸1、慢性気管支炎1、胃下垂・胃アトニー1、慢性腎炎1、悪性貧血1、急性カタル性結膜炎1、急性髄膜炎1、アビタミノーゼ1、子宮口びらん1、癩癬1、</p> <p>(衛生管理上の諸注意)</p> <p>検便結果では前回に比して罹患率は低下しているが蛔虫症が比較的多く食物摂取には十分注意を要する。又、歯科調査では虫歯のあるものが子供の9割以上(53名中33名)を</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>占め口内衛生に関する啓蒙が望まれる。その他の疾患としては消化系疾患が多く偏食傾向の是正を計ることが必要である。</p>
パラナ州 アリアエレナ郡 コロニア日光	(12/9)	日系人 40家族	35名 男 17 女 18 大人25 子供10	同上	<p>(営 農)</p> <p>カフェーを主体とし米、ミーリオ、フェジヨン、大豆その他を栽培している。カフェーは平均3~4年樹で入植者の殆んどは経済的に不安定である。各農家の耕地面積は5~15アルケール一般に小規模である。出荷は主としてウムアラマに出されている。当地区では旧移民を中心とした日本人会と一部戦后移住者を中心とする出荷組合に分れて対立感情を持っていることは遺憾である。</p> <p>(教 育)</p> <p>小学校 生徒数35名、中学校以上はウムアラマ市へ行く。中学校以上へ進学するのはごく稀で小学校までが精一杯である。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>食事に注意を要するもの10、貧血症10、低血圧6、流行性感冒4、消化不良症3、慢性胃炎2、腸寄生虫病の疑2、扁桃腺肥大2、神経痛2、汗癌状白癬2、胃下垂症1、脳膜炎后遺症1、心臓神経症1、高血圧1、更年期障害1、急性カタル性大腸炎1、白癩症1、トラコーマ1、アフタ性口内炎1、アビタミノーゼ1、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>戦後の移住民の中にはブラジル食に慣れておらず日本食のものがみられ体力維持上必ずフェジヨン、油脂分の摂取が望まれる。更に糞尿処理の衛生化を計り虫卵感染を断つよう心がけねばならない。</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
パラナ州 ロアンダ市及び その近郊	(12/11)	市内 35 家族 市外 15 "	24 名 男 8 女 16 大人 16 小人 8	医師 武田 義信 助手 中畑 恭一 副手 米村 ジョージ	<p>(営 農)</p> <p>カフェー栽培中心、4,000~90,000本を所有、平均約10,000本を栽植している。樹令は5~13年で収穫率最高200俵/1,000本、品質、収量とも優れている。2家族平均1台強の自家用車を所持し経済的に安定している。組合組織はないが州政府のカフェーIB, C組織があり、殆どこれを通じて処分される。果樹ではラランジャが栽培されているがラランジャ、パイアノ(ミカン病害)が蔓延し他州へのラランジャ送出国を厳禁されている。</p> <p>(教 育)</p> <p>中学校課程まであり日系子弟の就学率はよい。日語学校は62人の児童が毎日日曜日就学している。日語新聞購読率は90%以上である。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>食事に注意を要するもの11、貧血病7、腸寄生虫4、低血圧2、慢性胃炎2、尋麻疹2、慢性腎炎1、真性糖尿病1、老人性白内障1、胆石病1、消化不良1、胃下垂胃アトニー1、気管支喘息1、慢性化膿性中耳炎1、鼻ポリープ1、下肢静脈瘤1、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>当地は、高地にあり蚊、ハエは殆んどおらず熱帯病は以前から見られない健康地である。しかし、他地区同様、偏食による油脂類、カルシウム、ビタミン等の不足がみられ、食生活改善の必要が感じられる。</p>
パラナ州 ノーバ、エスペランサ 地区	(12/13)	市内 175 家族	32 名 男 15	同上	<p>(営 農)</p> <p>カフェー栽培を中心にミーリョ、アメントイン、米が雑作として作られている。土壌はテラミスタに属する細かい砂質壤土で作物の出来はまずまずである。大部分がコチア産組加入。</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
地区	12/15 12/16		女17 大人26 小人6		<p>(教育)</p> <p>当地には高等商業学校があり日系子弟の入学率が高い。大学進学者は6名あり、クリチーバ、サンパウロ市に出ている。日語学校も開校され低学児童は熱心に日語習得を行なっている。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>食事に注意を要するもの17、貧血症8、腸寄生虫病6、消化不良5、アピタミノーゼ5、習慣性便秘8、肥胖病3、高血圧3、低血圧2、慢性胃炎2、扁桃腺肥大2、静脈瘤2、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>市内に病院4、その他臨床検査所、個人開業医院等があり医療設備は問題ない。しかし水便は悪く水道化されている所は市内の一部にすぎない。又低地帯のため蚊が多く駆虫排水を徹底する必要がある。</p>
クイアパーパリスタ ノーボ・オリエンテ ノーボ・パライズ ノーボ・パライズ ツツペン	12/15 12/16		75名 男27 女48 大人46 小人29	医師 武田 義信 助手 中 畑 恭一 副手 米 村 ジョージ	<p>(営 農)</p> <p>アルト、ソロカバーナ地帯は、古くからカフェー地帯として開け現在もカフェーを中心に棉、アmendイン、フェジヨンミーリヨガ栽培され一部では牧畜が行なわれている。カフェーは平均収穫高は100俵/1,000本程度でこの地帯では好成績を上げている。近年アmendイン、棉等の栽培も盛んに行なわれ好結果を得ている。牧畜は日系人3~4農家あり平均3~400頭の牛を飼っている。カフェーのみの栽培家は100家族程度である。土壌はアレリア、パウフラツコと去われ酸性土(PH4~5)である。</p> <p>(教育)</p> <p>クイアパーパリスタには小学1校あるのみで高等課程はミランテ市で下宿通学している。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>食事に注意を要するもの24、貧血症24、農薬影響14、低血圧13、腸寄生虫病8、急性胃腸炎5、慢性胃炎4、扁桃腺肥大6、高血圧5、肝機能不全4、肥胖病4、副腎機</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>能障害1、慢性肝炎1、肝臓癌の疑い1、胃下垂胃アトニー1、甲状腺機能低下1、気管支喘息1、心臓弁膜症1、不整脈1、心臓神経症1、脳卒中後遺症1、真性糖尿病1、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>当地は医療設備にはほとんど恵まれておらず、ミランチ・ド・パラナパネマやサント・アナスタシオへ受診診療に行かねばならない。</p> <p>現在診療で特記すべき事は、農薬影響によるものが75名中14名いたことであり、今後の農薬使用者増加の傾向と相俟つて農薬管理、撤布時の注意の徹底が肝要である。又低血圧貧血症は栄養状態の不善からくるものであり食生活の改善が望まれる。</p>
ミランチ・ド・パラナ パネマ市の近郊	12/17	50家族 内営農者 10家族	22名 男13 女9 大人15 小人7	同上	<p>(営農)</p> <p>棉、アモンドイン、牧畜等が主に行なわれておりその他雑作としてミニーヨ、マモーナ、フェジヨン、マンジヨンカ等を栽培している。</p> <p>(教育)</p> <p>小学校4校あり日系就学率は100%、中学・高商課程へは他地区へ通学している。日語学校は1954年再開されたが生徒数は11名にすぎない。二世代に移行して日語への関心が薄れてきている。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>食事に注意を要するもの13、貧血疾8、慢性胃炎3、夜尿症3、消化不良2、高血圧2、扁桃腺肥大2、低血圧5、アレルギー性体質2、胃潰瘍1、耳下腺腫1、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>偏食傾向による体力低下、貧血症(殆ど食餌性)低血圧症及び胃腸障害が全体の9割以上を占めている。適切な食生活指導が望まれる。</p>
第二トマス	12/8 12/11			医師 今田 求	<p>(1) 6才未満の幼児全員 TRITOXOID 注射(28人)</p> <p>(2) 2才未満の幼児全員 BCG 内服(18人)</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>(3) 外務省医療調査団用調査用紙書入れ(36家族)</p> <p>(4) 一般診療(8人)</p> <p>(食料事情に関する考察)</p> <p>移住初期には偏食による栄養不足特にB₁、B₂欠乏症を起す場合が多い。これは全身倦怠、動悸、多少のしびれを訴え悪化すると歩行困難更に心臓麻痺を起すこともある。</p> <p>当地にもビタミンB₁不足により脚気が非常に多い。移住初期に於て自然食用動植物の利用及び果樹、間作による野菜栽培等を行い。食生活の改善を計るべきである。</p> <p>今後の新移住者の補助的健康食確保のために。</p> <p>(1) 入植予定地内の入植原適地に入植前食用穀果を生産する椰子類を植栽し入植者の補助食用として利用せしむる。(アサイ、バカバ、ブリチー、ポポンニア、デンデ等)</p> <p>(2) 入植者に早く果樹、ブラジル蔬菜等を植付ける様、指導し苗や種子の幹施を行う。</p> <p>(ココ椰子(アノン種)カジユー、アンモ、レモン、ラランジャ、コーベ、カルル)</p>
サンパウロ州 レジストロ郡 レジストロ植民地	12/11 12/12	日系人 415戸 2800人	120人 男51 女69 大人94 小人26	医師 細江 静 男 木原 暢 農田 ナタ 助手 中谷 正 臣 後呂 定 明 副手 坂根 ベート 岩中 徹	<p>(営 農)</p> <p>本地方はサンパウロ市南西180kmリベイラ河畔に発段し人口約18,000人である。海岸に近く海抜が低い(10m)ため温度が高い日本人の手によつてブラジルで始めて茶の栽培が行なわれ現在年間約4,00tを生産している。又、温地を利用して蘭栽培が行なわれゴザ加工業も盛んである。組合はコチア産組及びレジストロ産組があり加入者は半々である。</p> <p>(教 育)</p> <p>郡内には中学、師範、高校が各1校ずつありいずれも州立である。大学はサンパウロに下宿通学し現在就学者は20~30人である。</p> <p>(医 療)</p> <p>レジストロにサンタカーザ慈善病院がある。</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>(疾病統計)</p> <p>高血圧14、低血圧6、欧氏管狭窄2、カタル性鼻炎4、急性結膜炎6、更年期障害5、慢性皮膚炎5、風邪5、アレルギー性皮膚炎3、慢性胃炎4、腸寄生虫病7、ペラグラ5、右内臓径ベルニア3、貧血6、慢性扁桃腺炎5、農薬影響23、白血症2、肝肥大2、気管支喘息2、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>本地方は公衆衛生知識が非常に乏しい。腸寄生虫病は全住民の80%が罹患であり、マンソン氏病、シャーガス病、マラリア等も度々みられる。又、小児の脱水病も多い。</p>
サンパウロ市 ペーニャ地区	12/12	300家族	76名 男38 女38 大人23 小人53	医師 大野 悟 朗 片山 桂 吾 小副川 ルイス 副手 広瀬 和 松苗 絹江	<p>(営 農)</p> <p>本地方はサンパウロ市より東北11kmに位置し野菜栽培に従事する。野菜はアグリオン、コーベ、アルメロン等葉野菜が中心でペーニャ市街へ出荷している。成績は良好である。借地農が多い。</p> <p>(教 育)</p> <p>日語学校あり生徒数35名教師1名</p> <p>(医 療)</p> <p>Hospital Nossa Tenhosa de Penha 1院あり、カトリック教会経営、日系医師4～5名歯科医2～3名、眼科医1名</p> <p>(疾病統計)</p> <p>先天性不具 3名、扁桃腺肥大14、消化不良1、腸寄生虫病1、</p>
サンパウロ州 ジユキア線 イタリリー地域	1/15 1/16	104家族 1,000人	27人 男17 女10	医師 武田 義 信 助手 中谷 正 臣	<p>(営 農)</p> <p>本地方はサントスより約100kmジユキア線沿線に位置する。大部分の日系人は沖縄出身者であり、特にバナナ及び野菜を中心に栽培を行い、サンパウロ、サントス市場で各自自家販売である。</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
			女10 大人17 小人10	坂根 隆典 副手 米村 譲司	<p>(教育) 小学校、中学校各1校ありその他婦人会、青年会、日語学校がある。</p> <p>(医療) 二世医師あり保健所の主任を兼務している。DDT 撤布は行なわれていない。マラリアはそれほどみられなくなつたが寄生虫病及び熱帯病、マンソン氏病等がかなりある。</p> <p>(疾病統計) 偏食13、消化不良4、貧血3、農薬影響3、敗血症2、扁桃腺肥大2、アレルギー1、蕁麻疹1、流産1、ビタミン欠乏症1、上限検ポリープ1、高血圧1、</p> <p>(衛生管理上の諸注意) 検便結果より腸内寄生虫88%の陽性率を示した。便所構造及び裸足の習慣を治してゆくよう注意し寄生虫対策を講ずることが第一である。</p>
サンパウロ州 グワルーリョ郡 ノーボ・ボンゼツ地区	1/9		183名 男101 女82 大人99 子供84	医師 細江 静男 武田 義信 木原 暢 大野 悟郎 助手 中谷 正臣 中畑 恭一	<p>(営農) 耕地面積は平均1アルケール程度で小規模であるが、アルファアツセ、人参、サルソン及び花卉(バラ、グラジオラス、カーネーション)等の野菜、花卉栽培を中心として集約農業を営んでいる。借地農が多く約9割を占めている。借地料は最高200コントスである組合はスール・ブラジルが主体でその他コチア及びバンデランテに加入している。</p> <p>(教育) 小学校2校、中学4校ある。高等課程への進学はまだみられない。日語学校あり約40人の生徒通学。</p> <p>(疾病統計) 腸寄生虫病73、貧血症42、アビタミノーゼ11、急性及び慢性気管支炎11、低血圧10消化不良症9、慢性扁桃腺肥大7、月経困難症7、頸部リンパ腺肥大5、慢性胃炎5、ペラグラ4、更年期障害4、下痢症4、慢性便秘症3、偏頭痛3、風邪3、</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>(衛生管理上の注意)</p> <p>当地には病院1、診療所1あるがサンパウロまで25kmしかないため医療設備の整った市内で受診するが多い。当巡回の結果寄生虫症患が特に多い。この原因は外人カマードとの接触、低湿地帯の菜園を裸足で歩くと、井戸が浅いこと等が考えられ、これ等の感染経路を断つことが肝要である。</p>
リオ・グランデ・ド スール州 ペロツタス地区	1966年 2/27~ 3/18 3/3~3/4	31家族 営農家族数 23家族	49名 男25 女24 大人37 子供12	医師 木原 暢 助手 中畑 恭一 副手 米村 謙治	<p>(営業)</p> <p>主として果菜類(蔬菜、トマト、セボラ、果樹)を栽培している。自作農は5家族(2~30町歩)、殆どが借地分益農(3~10町歩)で平均入植歴約5~6年目で近年ようやく経済的安定を得ようとしている。</p> <p>地質は砂質壤土、生産物は大部分フェイラ、リーブレに出荷される。</p> <p>(教育)</p> <p>初等科の小学校は多数、中学校は現在11校、高等学校9校</p> <p>(疾病統計)</p> <p>低血圧8、神経痛2、腸寄生虫病2、アビタミノーゼ2、関節炎2、心臓弁症1、流行性肝炎後遺症1、胃下垂胃アトニー1、貧血1、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>低血圧症が多い。これは当地には新移民が多く日本食に偏っており塩分の摂取不足米食への偏重等に原因しているものと思われる。又、井戸は2m内外と浅く開放式で有機物の混入、特に糞尿の流入が見られ腸寄生虫病の感染を容易にしている。</p>
リオ・グランデ・ド スール州 バジエー地区	3/6	10家族 内6家族営農 4ヶキタンダ		同上	<p>(営業)</p> <p>トマトを主として、野菜栽培を行なっている。入植歴新しくすべて借地農で各戸平均4ヘクタールを耕作している。地質は砂質壤土。今年は寒波、ヒヨウの被害がかなりあり収穫量の減少があるものと思われる。</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>組合組織なく、市場はフェーラリーブレである。</p> <p>(教育)</p> <p>小学校147校、専門学校以上4校、中学校、師範・商業学校24校、邦人子弟小学7名 中学3名。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>慢性胃炎3、低血圧2、胃下垂胃アトニー1、急性下痢症1、腸寄生虫病1、高血圧1、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>市内10病院あり、一般に食事摂取の不適合から貧血、虫歯、過労系の症状が多い。</p>
<p>リオ・グランデ・ド スール州 ブラメント地区</p>	<p>3/7</p>		<p>10名 男 4 女 6 大人7 子供3</p>	<p>医師 木原 暢 副手 中畑 恭一 助手 米村 譲治</p>	<p>(営農)</p> <p>ブラジル側リブラメント、ウルグアイ側リベイラ両市の中間に位置する国際農場である。</p> <p>大部分が借地農でトマトを主体とした野菜を栽培しているが、ウルグアイ国より国境を越えて安価な野菜類が大量に入荷されるので日系農家はかなり苦しい立場にある。特に今年(1966年)はヒヨウ害があつて殆ど全滅の野菜栽培農家もあつた。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>低血圧2、アピタミノーゼ2、腸寄生虫病1、座骨神経痛1、慢性扁桃腺肥大1、慢性胃炎1、</p>
<p>リオ・グランデ・ド スール州 アレグレッチ地区</p>	<p>3/8</p>	<p>日系家族2 (12名) 単才青年3名</p>	<p>7名 男 3 女 4 大人5 子供2</p>	<p>同上</p>	<p>(営業)</p> <p>借地代が比較的高く土壌も普通以下で作物の収穫高は少い。トマト及び野菜栽培が主体である。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>慢性胃炎1、肝機能不全1、アピタミノーゼ1、白斑症1、</p>
<p>リオ・グランデ・ド・スール州 ウルグアイアール地区</p>	<p>3/9</p>	<p>9家族 (39人)</p>	<p>29名 男15</p>	<p>同上</p>	<p>(営農)</p> <p>営農家族5軒、小売業を兼ねているもの3軒洗濯業1。営農はトマトを中心に野菜を栽培</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
			女 14 大人 15 子供 14	巡回者名 し全て借地農である。耕地1ヘクタール前後の零細農で販売はフェラリーブレに出荷される。 (疾病統計) 低血圧5、腸内寄生虫病2、夏期下痢2、耳垢閉塞及び外耳炎2、慢性胃炎1、胃潰瘍1、胃腸無力症1、気管支喘息1、汗疱状白癬1、膿疱疹1、鼠径ヘルニア1、鼻痔1、肺結核症1、虫歯15、 (衛生管理上の注意) 市内には保健衛生設備は完備しているが入植年数浅く経済的に不安定なため家屋構造、食生活等の面で粗末になりがちである。今巡回で結核患者が1名いるがこのような環境の粗悪さによるものであり、安静治療することは困難である。又、虫歯が多いのは糖分の摂取過剰による場合が多く少くとも歯を磨く習慣を身につけるべきである。	
リオ・グランデ・ド・スール州 サンボルニア地区	3/10	3家族11人 単身 7名		同上 (営農) 全て借地農で野菜及び養豚経営を主としている。地代は1ヘクタール800コントス平均であるが、帰化手続きの問題、国境法等で土地購入は困難である。 (衛生・疾病状況) 当地より100km離れたサンルイス・ゴンザーガには現在フェブレ・アスレラ黄熱病の流行があり、当周辺地域は防疫対策が行なわれている。今巡回の結果、食餌摂取の不適当及び過劣による栄養障害低血圧症がみられた。又、移住者の住宅と便所、汚物処理には関心が薄く改善指導が望まれる。	
リオ・グランデ・ド・スール州 ジルアー地区	3/11	7家族13人 単身 3人	11名 男 6 女 5	医師 木原 暢 助手 中畑 恭一 (営農) 1959年第一次産業開発青年隊5名が当地に入植、続いて1961年6名1964年5月現在本部に約205ha所有、Girua郊外に20Ha、計271Ha、計271Haを耕作し、大豆ミリヨ一等を主体とした野菜栽培を行つている。他に米、小麦、アマニ等を栽培し、果樹	

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
(産業開発青年 隊)				副手 米村 謙治	<p>養豚等も今後とも入れられつつある。現在トラトラール2台を有し大農式経営を計画している。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>低血圧5、蕁麻疹2、胃下垂・胃アトニー1、癩(頭部)1、咽喉部神経症1、妊娠2、不妊症1、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>今巡回の結果低血圧症が5件を数える。これは移住当初・現地食に慣れず、又、食生活を重視しないことから来る場合が多く疾病に罹り易い原因となつている。日本食と現地食との折衷食の研究が望まれる。</p>
リオ・グランデ・ド・ スール州 イコイバ区	3/12	7家族38人 単才1人	29名 男16 女13 大人17 子供12	同上	<p>(営 農)</p> <p>営農家族数10家族、雑作でミーリオ、大豆、トリーゴ(小麦)、栽培しているが、特に野菜、大豆が盛んである。自作農は認められずすべて借地農である。耕地は各戸平均25町歩程であり年平均収入150万Cr弗ぐらいである。</p> <p>(教 育)</p> <p>郡内小学校200校 中学校4校 高等学校3校、日本語学校なし</p> <p>(疾病統計)</p> <p>アビタミノーゼ3、慢性胃炎3、貧血2、腸内寄生虫病1、助間神経痛1、胃下垂1、低血圧1、心臓弁膜症1、</p> <p>(衛生管理上の注意)</p> <p>入植後未だ日浅いため日本式食事が多く、貧血症、胃腸疾患を起しやすい。主食特に米食を減らし動物性蛋白、脂肪、ビタミン等の摂取、又フェジヨン食を常用するよう心がけてほしい。今巡回で特に歯科医の巡回を希望している者が多い。今後歯科医同伴の巡回診療を望む。</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
リオ・グランデ・ド・スール州 クルス・アル地区	3/13	4家族34人	24名 男13 女11 大人9 子供15	同上	(営農) 4家族とも借地農で野菜栽培である。土質砂質土、一部牧畜を副業的(約10頭)を営む。 (教育) 小学生8名、中学生4名、高校生1名、小学校10校、中学校5校、高校1校、日語学校なし (疾病統計) 低血圧5、扁桃腺肥大症5、感冒3、慢性胃炎1、関節リウマチ1、座骨神経痛1、 (衛生管理上の注意) 低血圧症、扁桃腺肥大、感冒等が目立つが、特に問題となる疾患はない。虫歯は多い。
リオ・グランデ・ド・スール州 サンタ・アリア地区	3/14	19家族 87人	28名 男15 女13 大人24 子供4	医師 木原 暢 助手 中畑 恭一 副手 米村 譲治	(営農) 営農を営んでいるもの14家族、殆どが借地農あるいは分益農でトマトを中心とした果菜類を栽培している。耕地面積は各戸平均2~3Ha、土質は砂質土で肥沃である。 (教育) 市内小学校20校以上、中学校15校、高校8校、医・法科その他大学があり学園都市の1つである。 (医療設備) 計6病院、総合病院2、過去10年間風土病がみられなかつた。家屋の消毒は各家族で任意に撤布。 (疾病統計) 低血圧8、感冒2、肝機能不全2、鼓腸2、右腕関節骨折1、慢性背椎炎1、クインケ浮腫1、消化不良1、急性扁桃腺炎1、虫歯16、 (衛生管理上の注意) 当地の農薬使用者は多いが今巡回では中毒症はみられなかつた。今後も十分使用管理に留

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>意すべきである。検便結果は7名中2名蛔虫卵疾患がみられたが、集団駆虫及び尿処理、食物の熱処理等感染防止を計るよう指導を要する。</p>
リオ・グランデ・ド・スール州 カシヨエイラ・ド・スール地区	3/15	8家族 43人	19名 男9 女10 大人14	同上	<p>(営 農) 借地分益農が多くトマトを主とした果菜類を栽培している。土壌砂質酸性土のため肥料使用量が大きい。トマト品質は普通以下で市場範囲狭く、将来性は少い。</p> <p>(教 育) 日系子弟市内へ通学</p> <p>(疾病統計) 低血圧2、消化不良2、慢性関節炎2、腸腸2、慢性扁桃腺肥大1、慢性胃炎1、肝機能不全1、関節リウマチ1、心臓弁膜症1、妊娠1、高血圧1、虫歯13、</p> <p>(衛生管理上の注意) 低血圧症、胃腸疾患症状を訴えるものが多い。又、心臓弁膜症疾患1名を認めた。食事関係では大部分が日本食で油ゴハン、フェジヨンの常食は皆無、一般に脂肪、蛋白質、塩分の摂取不足と米食の偏重がみられる。</p>
ファンシヤール移住地	1966 1/19~1/25 1/20	60家族		医師 武田 義信 助手 坂根 ペドロ 副手 米村 ジョージ	<p>(営 農) 約60家族在住、平坦な低湿地であるため雨期には冠水し農作不可能であるが、雨期後半から乾期にかけての野菜栽培は生育良好で市場も近く将来性大である。</p> <p>(教 育) 小学校1つあり、中学校以上はカシヨエイラ・デ・マカユへ通学。</p> <p>(医 療) ファンシヤールには看護婦おり医薬品配布す。パプカリア町は医療施設皆無であるが州当局及びアメリカ留学生の巡回診療が行なわれるので心配はない。</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
サンタ・クルス移住地	(1/21)		15名 男 7 女 8	同上	<p>(営 農)</p> <p>リオ市西方55kmに位置し、日系人約20家族が野菜栽培に従事、低地のため雨期冠水の恐れがあるが、作物の収穫大で販売市場も近い。今雨期の集中豪雨により農作物100%の被害あり、在庫の肥料農薬その他にも被害多い。</p> <p>(教 育)</p> <p>小学校10校、中高等学校3校、専門学校あり。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>偏食6、ビタミン欠乏症6、貧血4、低血圧症3、高血圧症2、農薬影響1、</p>
イタグアイ移住地	(1/22)		31名 男17 女14 大人25 子供 6	同上	<p>(営 農)</p> <p>日系人28家族、自作農で野菜を中心にミールヨ、米等の栽培を行う。又、ミカレ、コッコ、マラクジャー等の果実栽培も盛んである。</p> <p>(教 育)</p> <p>小・中・高校共に完備。</p> <p>(医 療)</p> <p>医院・薬局あり。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>ビタミン欠乏症9、農薬影響5、高血圧症4、ビールス性肝炎1、肥満症4、静脈瘤2、神経痛2、貧血症2、</p>
サンヘント移住地	(1/23)		32名 男13 女21	同上	<p>(営 農)</p> <p>Duque de Caxias 市より9km離れた低地で現在日系家族10家族居住。土質悪く度々浸水にあうので脱耕者もいたが、乾期には作物生育よく市場も近いため現在10家族の生活は安定している。</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
					<p>(教育)</p> <p>殆ど Caxias へ通学</p> <p>(医療)</p> <p>ビタミン欠乏症13、偏食11、農薬影響8、貧血8、消化不良4、腸内寄生虫症4、高血圧症2、月経閉止期障害2、アレルギー症2、静脈瘤1、</p>
マルケス・デ・パレンサ	(1/24)			同上	<p>(営農)</p> <p>リオ市より164km離れた標高460mの山間地帯にあり殆どが借地農である。</p> <p>当地は、日系人同志数派に分かれてまとまりがなく又、事前通知の不徹底のため診療行えず。</p> <p>今巡回の問題点</p> <p>(1) 植民地出身者で高等教育をうけた者が帰村しないこと。特に医科卒業者の帰村は移住地の医療衛生向上のために是非必要である。</p> <p>(2) 今雨期集中豪雨の被害は比較的軽小であつたが、その後の疫病発生には十分予防対策を講ずること。</p> <p>(3) ファンチャール、サンタクルスは低湿地のため雨期には殆ど耕作不可能であり、時には水害を被ることもある。排水及び治水は今後の宿願である。</p>
サンパウロ州 サントスピリトゥ ミカラシ郡 ピグア地区及び郊外	1966 2/5~2/6	46家族 300人		医師 細江 静 男 武田 義 信 助手 後 呂 定 明	<p>(営農)</p> <p>当地はBR-2号国道に沿つて142kmサンパウロ南西に位置し、日系人は46家族が在住傾斜地多く酸性土で普通作には適さないがバナナは伯国有数の栽培地である。バナナは各戸平均50町歩15,000本前後を有し、月間約6万房の生産がある。バナナ作の他に養鶏、野菜、果樹を栽培しサンパウロに出荷している。組合はコチア産組加入。</p>

巡回地域	期間	入植者数	受診者数	巡回者名	巡回状況及び結果
				坂根 ベトロ 米村 ジョージ 副手 岩中 徹	<p>(教育)</p> <p>小学校1分校4、中学校1あり日系児童小学生130名、中学校60名が通学、高校以上はサンパウロに行く。</p> <p>(医療)</p> <p>保健所はあるが常勤医師おらず。急患はレジストロ市及びサンパウロ市へ行く。</p> <p>(疾病統計)</p> <p>貧血32、腸寄生虫病29、偏食10、高血圧8、心音異常6、低血圧6、農薬影響5、消化不良5、神経痛3、肥満症3、ビタミン欠乏症3、</p>

附 疾 病 統 計

16. 1.

入 植 地 名 受 診 者 数	アスパアゼ		和 歌 山		イタボラン		共栄北海道		松 原		ピラゴロリア		カフェー・ポワン		ナビライ		パナンビー		ラランジャ・リマ		クリスタリーナ		パラグアイ国 ペシロフアン		ペドロカバリエロ シエグエロ		パラグアイ国 サンパナタン		小計
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	
貧 血	14	16.9%	5	10.6					1	6.3																			20
扁桃腺炎	12	14.5	5	10.6					2	12.5	1	4.3																	20
頸部リンパ腺炎	9	10.8																											9
ペラグラ症	7	8.4																											7
高 血 圧	6	7.2			2	15.4	2	14.8	2	12.5	1	4.3			2	10.5	1	4.8	1	8.3	1	14.3	3	10.7			1	5.3	21
低 血 圧	5	6.0			1	7.7			3	18.8	1	4.3											1	3.6					11
農 業 影 響	5	6.0																											5
ビタミンB不足	6	7.2																	2	16.7					1	5.6			9
腸 寄 生 虫 病	3	3.6	10	21.2			1	7.1	4	25.0	4	17.4			5	26.3	1	4.8	1	8.3					1	5.6			30
虫 歯	34	41.0	10	21.2					11	68.8			4	16.0	8	42.1	5	23.8					9	32.1			11	57.9	92
風 邪			6	12.8			1	7.1	1	6.3	2	8.7									5	41.7					3	15.8	18
湿 疹			3	6.4	1	7.7							1	6.7									1	3.6					6
慢 性 胃 炎			3	6.4	2	15.4	2	14.3			1	4.3	1	6.7	1	5.3							5	17.7	4	22.2	1	5.3	20
淋 疾			2	4.3																									1
扁桃腺肥大			3	6.4							1	4.3															1	5.3	5
慢性気管支炎					1	7.7																							1
リウマチ					1	7.7																	2	7.1			1	5.3	4
慢性気管支喘息					1	7.7																							1
咽 喉 炎					1	7.7																							1
ブラスティムーゼ							1	7.1																					1
中 耳 炎							1	7.1									1	4.8											2
消 化 不 良							1	7.1							2	10.5													3
結 膜 炎									1	6.3	1	4.3											1	3.6					3
腰椎神経痛											1	4.3							1	8.3	1	14.3							3
欧氏管狭窄													1	6.7									1	3.6					2
肋間神経痛													1	6.7	1	5.3													2
老人性白内障													1	6.7															1
熱帯性皮膚病															1	5.3													1
下肢静脈瘤															1	5.3													1
慢性肝臓炎															1	5.3							2	7.1					3
皮 膚 炎															1	5.3	1	4.8					1	3.6	1	5.6			4

入 植 地 名 受 診 者 数	イジエイ		クルスアルタ		サンタマリア		カシヨエラ ドスール		小計	合 計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率		実数	比率
貧 血	2	6.9%							2	417	15.7%
扁桃腺炎					1	3.6			1	35	1.3
頸部リンパ腺炎										73	2.8
高 血 圧							1	5.3	1	123	4.6
低 血 圧	1	3.4	5	20.8	8	28.6	2	10.5	16	201	7.6
黴 菌 影 響										149	5.6
ビタミ不足	3	10.3							3	76	2.9
腸 寄 生 虫 病										255	9.6
虫 歯					16	57.1	13	68.4	29		
風 邪			3	12.5	2	7.1			5	66	2.5
濕 疹										14	0.5
慢性胃炎	3	10.3	1	4.2			1	5.3	5	114	4.3
扁桃腺肥大			5	20.8			1	5.3	6	83	3.1
慢性気管支炎										20	0.8
慢性気管支喘息										17	0.6
咽 喉 炎										1	0.0
プラストミューゼ										1	0.0
中 耳 炎										3	0.1
消 化 不 良					1	3.6	2	10.5	3	61	2.3
結 核 炎										16	0.6
腰 推 神 経 痛			1	4.2					1	32	1.2
老人性白内障										2	0.1
熱帯性皮膚炎										1	0.0
下肢静脈瘤										9	0.3
慢性肝臓炎										17	0.6
皮 膚 炎										28	1.1
暗 尿 病										3	0.1
リウマチ			1	4.2					1	12	0.5
欧氏管狭窄										4	0.2
トラコーマ										1	0.0
マラリア										5	0.2
ハンセン氏病										1	0.0

註：(1)比率；罹患患者数／受診者数×100

(2)病名；主要疾病の抜粋

巡回診療報告書（昭和四十年度分）